

官報

號外

明治四十年三月十五日

金曜日

印刷局

○第二十三回 帝國議會 衆議院議事速記 第十五號

明治四十年三月十四日(木曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第十四號 明治四十年三月十四日

午後一時開議

- 第一 樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 海港檢疫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 刑法改正案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 市場法案(川島藏藏外) 第一讀會
- 第七 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(築山和一外) 第一讀會
- 第八 鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案(佐竹作太郎外) (委員長報告)
- 第九 司法官ノ待遇ニ關スル建議案(宮古啓三郎外)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一新潟縣郡部選出議員波多野傳三郎君死去セラレ其補闕トシテ山田又七君當選セラレタリ

一山田又七君ノ部屬ハ第一部ニ編入セリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案

提出者 植場 平君 吉植庄一郎君 佐々木正藏君

提出者 木村半兵衛君 大野龜三郎君 駒林廣運君

提出者 橋本久太郎君 萩野左門君

煙草專賣法中改正法律案

提出者 福井三郎君 池田惟貞君 濱名信平君

提出者 武滿義雄君 安達謙藏君 久保伊一郎君

提出者 中林友信君

農事改良獎勵ニ關スル建議案

提出者 多田作兵衛君 東尾平太郎君 荒川五郎君

提出者 藤金作君

國有林野拂下ニ關スル建議案

提出者 藤金作君

一早速整爾君ヨリ公債募集ニ關スル質問趣意書ヲ提出セラレタリ

一貴族院ハ本院送附ニ係ル政府提出明治四十年度歲入歳出總豫算追加案(第

一號)明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)豫算外國車ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)保稅倉庫法中改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

日本水産銀行法案外一件

委員長 景山甚右衛門君

理事

〔濱田國松君
川島瀧藏君

礦業法中改正法律案

萩野左門君

理事

丸山嵯峨一郎君

府縣制中改正法律案

植場平君

理事

大熊三之助君

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

委員長 海野謙次郎君

理事 齊藤良輔君

北海道人市制ヲ施行スル法律案外二件

委員長 奥野市次郎君

理事 福島宜三君

礦物調査ニ關スル建議案

委員長 福井三郎君

理事

淺野陽吉君

郡役所廢止ニ關スル建議案

委員長 多田作兵衛君

理事

東尾平太郎君

渡良瀬川改修工事ニ關スル建議案

委員長 柳田藤吉君

理事

山森隆君

製茶販路擴張補助ニ關スル建議案

委員長 佐々木正藏君

理事

松浦五兵衛君

本院ノ體面ニ關シ調査ノ件

委員長 南條吉左衛門君

理事

〔立川雲平君
神崎東藏君

鹽專賣法廢止法律案外一件

委員長 根本正君

理事

淺羽靖君

明治三十三年勅令第三百三十二號廢止ニ關スル建議案

委員長 櫻本次郎右衛門君

理事

澤田佐助君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

公債募集ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十年三月十四日

提出者 早速 整爾

贊成者 花井卓藏

外三十一名

公債募集ニ關スル質問主意書

一、政府ハ本月七日勅令第二十三號ヲ以テ明治三十七年五月及同年十一月英

官報號外

明治四十年三月十五日

三月三十一日第三種郵便物認可

衆議院議事速記第十五號

議長ノ報告

二二五

國倫敦及北米合衆國紐育ニ於テ募集シタル六分利付英貨公債二千二百萬磅ヲ整理償還スルヲ明治三十七年法律第一號及同三十八年法律第十二號ニ依リ五分利付英貨公債二千二百萬磅ヲ募集スルノ件ヲ公布シタリ此公債ノ募集ハ果シテ時機ヲ得タル適當ノ處置ナルカ

二、明治三十八年勅令第二百四十一號ヲ以テ四分利付公債發行ノ規定ヲ設ケ又現ニ之ヲ發行シタリシニ拘ハラス今日ニ至リテ更ニ高利ノ公債ヲ發行シタルハ財政當局者ノ一大失態ニアラサルカ

三、歐米ノ金融ハ緊縮ヲ告ケタルノ實アリトスルモ今ヤ漸ク緩和ニ向ハントスルノ形勢アリ尙ホ政府ハ低利ノ公債ヲ募集シ得可キノ時機ナシト信シタルカ

○議長(杉田定一君) 新ニ當選セラレタ議員ノ御方が出院ニナリマシタノデ、紹介致シマスガ紹介ノ際ニ於テハ其議員ノ御方ハ起立ヲ願ヒマス——新潟縣郡部選出議員山田又七君ヲ御紹介致シマス

(山田又七君起立)

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、藻寄鉄五郎君

○藻寄鉄五郎君 議事ノ進行ニ付イテ一言致シマス、本院ハ吾々ニ對シテ收賄ノメニ今日委員ガ立テ居リマス、然レニ本日ノ議事日程ヲ見マスト、泥棒ヲ罰スルト云フ刑法ノ改正案ガ出テ居ル、果シテ吾々ニ嫌疑ガアルナレバ、泥棒ノ嫌疑者ガ此改法ヲ議スルハ甚ダ不可思議ナル、故ニ議會清廓ヲ計ルタメニ、至急吾々ニ對スル委員ノ審議ヲ進行サレテ、其正否ヲ明ニシテ、而シテ後此國家百年ノ大憲法ヲ議セラル、ヤウニシタイ、……大同俱樂部ノ議員諸君、此議會始メ以來新聞紙上ニ現ハレタル、所謂收賄者ト稱スル者ガ百六十二名アル其内大同俱樂部ニ對シテハ、吾々ハ確ナ材料ヲ知テ居ル、若シ吾々ノ審查ガ濟メバ、直ニ我輩ハ緊急勸諭ヲ起シ積リテアル、免ニ角百六十餘名以上百八十名以下ノ收賄者ガアル場合ニ、此刑法ノ如キ大憲法ヲ議スルノハ甚ダ不當アルト思ヒマスカラ、先ツ吾々ノ審查ヲ進メ、然後此刑法ノ如キ泥棒ヲ罰スルト云フ法典ヲ議スルコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 藻寄君ニ申シマスガ、御發言中ニ泥棒ノ巢窟ト云フヤウナ言葉ガアツタヤウアリマスガ(藻寄鉄五郎君)故ナクシテ金ヲ取ルノハ泥棒アル、故ナクシテ金ヲ取ルノガ泥棒ナレバ、收賄者モ泥棒アル(ト呼フ)是ハ穩ナラヌト思ヒマス

○藻寄鉄五郎君 ドウ致シマス、取消セト云フノデスカ

○議長(杉田定一君) 穩ナラヌト思ヒマス

○藻寄鉄五郎君 ヲレデハ取消シマス

○福井三郎君 唯今續物調査ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ヲ御許ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 續物調査ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセスカ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○福井三郎君 委員ノ御方ハ、第十委員會室(御參集ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 御諮ヲ致スコトガアリマス、村松龜一郎君病氣ノタメ一昨十二日ヨリ十日間請假ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、明治三十八年度豫備金支出ノ

件、移民保護法中改正法律案、及本院ノ體面ニ關シ調査ノ件委員、山口熊野君辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 右ノ委員ハ議長ノ指名デアリマスルデ、明治三十八年度豫備金支出ノ件委員ニ加藤藤藏君、移民保護法中改正法律案委員ニ花井卓藏君、本院ノ體面ニ關シ調査ノ件、委員ニ小川平吉君ヲ各補缺トシテ選定致シマス——早速整爾君

(早速整爾君登壇)

○早速整爾君 諸君、私ハ外債借換ニ關スル質問趣意書ヲ提出シテ置キマシタニ付キマシテ、聊カ其理由ヲ陳述致シタイト考ヘマス、御承知ノ如ク、政府ハ本月七日、勅令第二十三號ヲ以テ、五分利付ノ英貨公債二千三百萬磅ヲ募集スルノ件ヲ公布致サレタノデゴザイマス、是ハ申スマデモナク戰時中、即チ明治三十七年ノ五月、並ニ同年ノ十一月ニ募集致シタルコロノ六分利付ノ英貨公債ノ二千二百萬磅ヲ、整理償還スルト云フ目的ノタメニ、今回新ニ此二千三百萬磅ノ公債ヲ募集スルコトニナツタノデゴザイマス、戰後ノ財政整理ニ熱心ナル、殊ニ國債ノ整理ニ熱心ナル大藏大臣ガ、此高利ノ公債ヲ整理致シタメニ、今回新ニ此公債ヲ募集セラルト云フ處置ニ出テラレタノハ、一應尤ラシクゴザイマスケレドモ、本員ハ此新公債ノ募集ニ關シマシテドウシテモ疑ヲ釋コトノ出來ナイ箇條ガ二三點アルノデゴザイマス、戰時中ニ募集致シタルコロノ六分利付ノ公債、是ハ戰時中急遽ノ際ニ募集致シタノデゴザイマスカラ、勿論非常ニ利率ガ高イ、六分ト云フ利率アル、而シテ此公債ニハ御承知ノ如ク、關稅ノ收入ト云フモノガ抵當ニナツテ居リマス、是ハ實ニ帝國ノ不面目、帝國ノ不面目ヲ極メタルコロノ外債デゴザイマスカラ、此外債ヲ整理償還シヤウト云フコトニ付イテハ、勿論何人モ異存ガ無イノミナラズ、斯ノ如キ不面目ナル公債ハ一日モ速ニ之ヲ償還シナケレバナラナイト云フコトハ、國民一人トシテ之ヲ希望シナイモノハ無イノデゴザイマス、是ニ於テ乎今回大藏大臣ガ新ニ此公債ヲ募集シテ、此不體面ナル六分利付ノ公債ヲ整理償還スルト云フ舉ニ出テラレタノハ、其目的ニ於テキマシタメ本員共甚ダ贊成ヲ致スノデゴザイマスケレドモ、併ナガラマス、凡ソ此國債ノ整理ヲ致スニ當リマシテハ、免ニ角國家永世ノ利害ヲ研究致シ、將來永遠ニ互ニ利益モ有リナル條件ノ下ニ、之ヲ整理スルト云フ手段ヲ執ラナケレバナラヌノガ當然アル、國債整理ノ極意ハ、國家ノ將來永遠ニ互ニ利益ト云フコトヲ目的ト致シテ、此ノ整理償還ト云フ手段ヲ執ラナケレバナラナイト云フアル、唯一時ハ外債ノ借換ヲシテ、整理ノ目的ヲ達シタ如ク見エマシテモ、將來永遠ニ互ニ利益ト云フ目的ガ不利益デゴザイマシタナラバ、決シテ多額ノ國債ヲ整理スルト云フ目的ニ達シタモノト云フ譯ニハ往カナイ、ソコガ即チ財政當局者ノ手腕財政當局者ノ手腕ヲ要スルトコロデゴザイマス、日本ノ政府ハ財務官トカ名ヲ付ケテ、態々歐羅巴ヘ人ヲ派シテ居ルト云フ程ノ今日デゴザイマスカラ、其腕前ニ依ツテ最モ有利ナル條件ノ下ニ、此國債ノ整理ト云フ方法ヲ執ラナケレバナラナイト云フアル、此度新ニ募集セラレタルコロノ公債ハ五分利付アル、固ヨリ従前ノ六分利付ノ公債ニ比較致シマスレバ、利率ト云フモノハ廉イ、是ハ吾々モ國庫ノ利益ノタメニモ之ヲ祝サナケレバナラナイトデアリマスケレドモ、併ナガラ今回ノ此五分利付ノ公債デハ、發行ノ價格ハ九十九磅十志アル、ケレドモ「シンデケ」ト「フ」手數料ガ四磅アル、諸君、先年ノ四分利付ノ公債ニ對シテ「シンデケ」ト「フ」手數料ハ三磅デゴザイマシタガ、今回ノモノハ此手數料ガ四磅アル、一磅高イ、政府ノ手

取ハ正味九十五磅正志ト云フコトナリマスカラ、此公債ノ利廻リト云フモノハ、五分六厘餘ニ相當スルノデゴザイマス餘リ廉イ利ノ公債アルト申スコトハ出來ヌ、六分利付ノ公債ヲ償還スルニ當リマシテ、五分利付ノ公債ヲ發行シタト云フコトハ、チヨット手際ガ宜サ、ウニ見ユルケレドモ、此利廻リニ五分六厘餘ノ公債ノ募集ノ仕方ト云フモノハ決シテ、手際ノ宜キ遣方デハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、諸君、戰時中ニ於テスラ我帝國ハ我帝國ノ信用ヲ以テ四分半利付ノ公債ヲ發行シ得タデハゴザイマセヌカ、又平和克復後ニ至リマシテハ、直チニ四分利付ノ公債ヲ募集スルコトヲ得タルデアリマス、然ルニ今日ニ至リマシテ五分利付、是ハ寧ロ私ハ高利デアルト認メル、此高利ノ公債ヲ募集スルコト云フ手段ニ出デタルハ、果シテ適當ナル處置デアルト云フコトガ出來ルデゴザイマセヌカ、成程歐米ノ金融社會ハ昨年ノ秋以來ハ激變ニ激變ヲ重ネマシテ、倫敦アリノ金利ト云フモノハ非常ニ高クナリテ參リ、英蘭銀行ノ金利ガ南阿戰爭以來未嘗有ノ高調ヲ示シタト云フコトハ、私共事實上之ヲ認メテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ此歐米ノ金融市場ノ變調ト云フモノハ、昨年ノ冬以來ハ段々平調ニ歸シテ參テ英蘭銀行ノ金利ト云フモノモ、正ニ一分デケ下落シタト云フ有様デアル、殊ニ本年ノ二月ニ至リマシテハ、此金融社會ノ變調ト云フモノガ次第第二平和ニ歸シテ、段々ニ順調ニナリテ參テ居ルコト今日デゴザイマス、アレデアルカ先程彼ハ暹羅ノ國、暹羅國ノ政府ガ倫敦、巴里、柏林及漢堡ニ於テ二百萬磅ノ公債ヲ發行シタトキニ當リマシテモ、暹羅國政府ヲ以テシテ、尙四分半利付デ此公債ヲ募集シ得タルデアル、然ルニ我日本帝國ノ信用ヲ以テシテ、暹羅國政府ガ募集シタルコトノ公債ヨリモ、尙利率ヲ高メナケレバ外債ノ募集ガ出來ナカッタト云フモノハ、甚ダ其宜キヲ失シタルコトノ處置デハゴザイマシカ、歐羅巴ノ金融社會ノ事情ヲ觀察スル者ノ言葉ニ依リマシテモ、昨年以來ノ此變調ト云フモノハ、イロ／＼ノ原因ガゴザイマスレドモ、倫敦ノ金融市場ノ變化ト云フモノ、主ナル原因ノ第一ハ、桑港ノ震災ノタメニ保險會社ガ仕拂タルコトノ保險金ノ供給ヲ倫敦ヨリシタト云フコトガ第一、ツレカラ亞米利加ノ農產物ニ對スル資金ヲ倫敦ヨリ供給シタト云フコトガ第二、ツレカラ日露戰爭以後各國ノ商工業ガ一時ニ勃發シテ、ツレガタメニ資金ノ需用ト云フモノガ非常ニ増加シタト云フコトガ第三、是等ノ原因ガ相集テ倫敦ノ金融市場ノ逼迫ヲ來シタト云フコトヲ觀察シテ居ルノデゴザイマスルガ、凡ソ是等ハ總テ一時ノ現象、桑港ノ震災ノコト、ツレ、亞米利加ノ農產物ニ對スル資金ノ供給ト云ヒ、將來多年ニ涉リテ此現象ト云フモノハ持續スベキ性質ノモノデナイ、即チ一時ノ現象デアルト私共ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、サナキダニ此一般ノ金融ノ一消一長ト云フモノハ、チヨットシタ原因ノタメニ或ハ金融ガ逼迫シ、或ハ金融ガ緩和シタルト云フ有様デアリマシテ、長イ年ノ間固著シテ、此金融ノ狀勢ト云フモノガ動搖シナイト云フコトハ決シテナイノデアル、モウ現ニ昨冬以來ノ倫敦ノ金融市場ノ激變モ、今日デハ順調ニ歸シツ、アルト云フコトガ事實デゴザイマスルカラ、政府ハ我外債借替ヲ爲スニ當リテ、適當ナル時期ヲ待テバデス、今日ノ如ク寧ロ高利トモ謂フベキ此五分ト云フホドノ利率ヲ拂ッテマデ、公債ヲ募集シナケレバナラヌト云フ苦ヲ感ズルコトハナイデアラウカ、ナゼ政府ハ適當ナル時期ヲ待テ、國債整理ノ目的一副フ如ク、廉イ利率ノ公債ヲ募集スルコト云フコトヲシナカッタノデアルカ、是ガ本員ハ財政當局者ニ向テ質問シナケレバナラヌトコロノ要點デゴザイマス、極メテ慎重ニ經濟社會變動ノ狀勢研究ヲシ、金融市場ノ變化ノ有様ヲ研究ヲ致シマスレバデス、無理ニ急イテ、急速ニ此外債ノ借替ト云フコトヲシナタトモ、或ル適當ナル時期ヲ待テバデス、今少シ低利ノ公債ヲ募集スルコトガ出來タニ相違ナイト思フ、政府方デハ此外債ノ借替ハ一日モ速ニ之ヲ決

行シナケレバナラヌ、餘リ長イ間之ヲ待ツコトガ出來ナイト云フセウナコトヲ説ク者ガアルデゴザイマスルケレドモ、ツレナラバデス、ナゼ一昨年此四利付ノ公債ヲ發行スベキ規程ヲ設ケタ當時——餘リ急イテ云フノナラバ、一昨年ニ於テ四分利付ノ公債ヲ發行シナカッタカ、一昨年ハ四分利付ノ公債ヲ發行スルコトガ出來タニ拘ラヌ、急グ／＼ト言ヒナガラ今日マデ時期ヲ遷延シテ、今日ニ至リテ此五分利付ノ公債ヲ發行スルコト云フコトハ、甚ダ迂緩ノ合ハナイ話デアルト私ハ思フノデアリマス、ツレハ一昨年ハ金融社會ノ未來ノ勢ガ分ラナカッタカラ今日マデ特ツタノデアルト言ハル、カモ知レマセヌガ、其時ニ金融社會ノ未來ガ分カラナカッタナラバ、今日デモ金融社會ノ未來ハ分ラナイ、モウ少シ待テ見レバ金融ト云フモノガ緩漫ニナリテ、低利ノ公債ヲ募集スルコト云フ時期ガ來ルカモ知レナイ、ツレナラバ此外債ハ短期ナリト雖モ、マダ三四年ノ期限ガアル、三四年ノ期限ガアルノデアルカラシテ、急イデ今日ニ之ヲ償還シナクモ、今少シ時期ヲ待テ、有利ノ條件ヲ以テ外債ヲ募集スルコト云フコトニシタナラバ、宜カッタノデアル、殊ニ我大藏大臣ハ非常ニ我財政ノ基礎ガ鞏固ナリト云フコトヲ唱ヘ、從ッテ我經濟社會ト云フモノモ、將來ニ非常ニ有望デアルト云フコトヲ口ニシテ居ラル、財政ノ基礎ガ鞏固デアル、經濟社會ノ將來ガ甚ダ有望デアルナラバデス、日本信用——日本ノ財政上ノ信用ト云フモノハ將來ニ於テハ益々高マデ來ルニ相違ナイ、其信用ガ高マデ來ルコト致シマスレバ、將來ニ於テハ益々有利ノ條件デモ、即チ低利ノ公債ヲ募集シ得ル時期ト云フモノハ必ズ到達シナケレバナラヌノデアル、何ヲ苦シデデス、此歐米ノ金融市場ノ激變ヲ加ヘタ其時ヲ狙ッテ、此ノ如キ不利益ナル條件ノ下ニ、外債ノ借替ヲ斷行シナケレバナラナイト云フ必要ガアルノデアルカ、諸君、戰時中ニ於ケル高利ノ公債ノ如キハ吾／＼ハ國民ト共ニ之ヲ忍ビタノデアル、國家不體面ト云フコトヲ申シテモ已ム得ズ、之ヲ忍ビタノデアル、然ルニ戰後ノ今日國力ノ發展ト云フコトヲ口ニシテ居ル、一等國ノ伍伴ニ列シタト云フコトヲ口ニシテ居ル今日ニ至ッテ、暹羅國政府ガ歐羅巴市場デ募集シタルコトノ公債ヨリモ、却テ高イ利率ヲ拂ッテ公債ヲ募集シナケレバナラヌト云フ境遇ニ陥ッタノハ、果シテ何故デゴザイマス、財政當局者ガ特ニ人ヲ歐洲ニ派シテ金融市場ノ狀況ト云フコトニ注目シテ居ラル、ニ拘ラヌ、斯ノ如ク不理窟ナル處置ヲ採ラタト云フコトニ付イテハ、本員共甚ダ不満足ヲ訴ヘナケレバナラヌノデゴザイマス、此故ニ本員ハ財政當局者ニ對シテ、此不利益ナル條件ノ下ニ外債ノ借替ヲ斷行シタト云フコトノ趣意理由ヲ承ハリ、併セテ此外債募集ト云フモノハ、將來ノ適當ナル時期ヲ待ツコトガ出來ナカッタト云フコトノ詳細ノ理由ヲ承ハリタイノデゴザイマス、チヨット簡單ニ此趣意デケラ申述ベマシテ、財政當局者ノ辯明ヲ煩シマス

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 唯今貴族院ノ委員會ノ方ヘ出席致シテ居リマシテ、御質問ノ趣意ヲ中途カラ承ハリマシタガ、要スルニ今回ノ五分利付英貨公債發行ガ、其時期ヲ得タカ得ヌカト云フ御質問ノ要領ノヤウニ承ハリマス、此六分利付英貨公債二千二百萬磅ノ借替ノコトニ付キマシテハ、一昨年ノ暮ニ勅令ガ出マシテ、四分利付公債ヲ以テ整理スルコト云フコトデゴザイマシタガ、其當時先ヅ內國ノ六分利付國庫債券ノ整理ヲ先キニシタラ宜カラウト云フコトデ、六分利付國庫債券、二億ノ償還ト云フコトヲ先キニ致シマシタノデゴザイマス、其當時、同時ニ外國ノ六分利付二千二百萬磅モ整理致シタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマシタノデゴザイマスガ、一時ニ五億バカリノ公債ヲ發行スルコト云フコトハ、當時ノ歐羅巴ノ市場ガ之ヲ容ル、コトヲ難シタノデゴザイマシテ即チ此六分利付英貨公債ハ勅令ハ發布ニナリマシタノデゴザイマスガ、暫ク其

時期ヲ見ルト云フコトニ極メマシタノデ、而シテ財政代理人タル高橋氏ハ此第一回ノ六分利付二億圓ノ發行ヲ終リマシテ歸朝ヲ致シマシタノデ、其以來段々歐羅巴、亞米利加ノ市場ガ忙シクナリマシテ、段々資金ノ需用ト云フコトガ非常ニ強クナリマシテ、次第第二此金利モ上ルト云フヤウナ譯テ其時機ヲ得ナカッタ、此金利ノ上リマシタコトニ付イデハ種々ナル原因ノアリマスコトデ、ツレバ一々茲ニ申上ル必要ハナイト考ヘルノデアリマスカ、免二角或ハ露國ノ公債ノ發行ガアルトカ、或ハ米國ノ繁昌ノタメニ、非常ニ米國ノ方ヘ資金ヲ需用スルコトカ、種々ナル原因ニ依テ金利ガ上リマシタ、ソコデ此昨年ノ春ニ於テ償還スルノ時機ヲ失シマシタカラ、昨年ノ九月六日ニ再ビ高橋氏ヲ財政代理人トシテ英米ヘ派遣致シマシテ、段々米國、英國其他歐羅巴大陸ノ方ヲ巡迴致シマシテ、資本家ト協議ヲ遂ゲマシタ、ドウモ昨年ノ秋ニ於キマシテハ、未ダ相當ノ期ニ達シナカッタノデゴザイマスカ、今春ニナリマシテ段々時期ノ來ルト云フコトヲ測量シ得マシタノデ、高橋氏ノ方カラシテ、凡ソ此三月ガ相當ノ時期デアラウト云フ報告ヲ得マシタ、然ルトコロガ此歐羅巴ノ市場ハ、昨年一年丁度日本ガ公債ノ借替ヲ見合セタト同シヤウニ、諸外國モ亦借替ヲ見合セ、若クハ社債ノ發行ヲ皆見合セテ居リマシタ、故ニ續々此金利ノ下ルニ乘ジテハ、發行ノアリサウナ狀況ガ見エマシタノデ、是ハ早ク他ノ國ノ發行ニ先ンジテ、コチヲノ公債ヲ發行シタ方ガ宜シカラウト云フ見込ヲ付ケマシタ、謂ハハ市場ノ緩和ト共ニ續々賣物ガ出テ來レバ、益々コチヲノ方ノ發行ノ時機ヲ失スル虞ガアル、殊ニ今回發行致シマシタノハ二億三千万圓、即チ二千三百萬磅ト云フ大キナ高デゴザイマシテ、斯ノ如キ巨額ノ公債ノ發行ト云フモノハ、歐羅巴ノ市場ニ於テモサウ澤山ハナイ、サウ云フ狀況デアリマシテ、此三月ト云フモノガ逸スベカラザル好時期ト認メマシタガ故ニ、各方面ノ狀況、又種々ナル事情ト云フモノガ、ドウモ此時期ガ宜シカラウト云フコトデ、此際借替ト云フコトニ決心致シマシタ、而シテ此借替ヲ實行致シマシタニ付イデハ、四分利ノ發行モ出來ルノデ、又四分半モ出來ルノデ、必シモ五分利ヲ取ラネバナラヌト云フコトハナイノデゴザイマスカ、公債ノ相場ヲ段々計算致シテ見マスト、五分利ノ發行ト云フモノガ一番有利デアル、即チ五分利公債ト云フモノガ、一番倫敦ノ市場ニ於テ高ク相場ヲ保ツテ居リマスカラシテ、從ツテ此他ノ四分利トカ若クハ四分半ト云フモノヲ發行致シマシタヨリモ、計算ガ非常ニ利益ニナリマスカ、一昨年ノ十一月ノ計畫ニ依レバ、此二千二百萬磅ノ借替ノタメニ二千五百萬磅ヲ發行スルト云フコトデアリマシタガ、此度ハ御承知ノ通り二千二百萬磅ヲ濟シマシタ、即チ凡ソ二千萬圓バカリ借替ノタメニ發行ヲ減ジテ居リマスカ、是ハ即チツレダケ利ガ高イ代リニ、手取ト云フモノガ殖エテ居リ、利益ニナリマスコトデスカラ、ドウ勘定致シマシタモ、四分利ヲ發行スル、或ハ四分半ヲ發行スルト云フコトハ、算盤上損ニナリマスカ、故ニ五分利付ト云フモノヲ發行致シマシタ、手取ヲ多ク致シタ所以デアリマスカ、而シテ此六分利ヲ五分利ニ變ヘタガタメニ、政府ハ年々利益致シマスコトハ勿論デアリマスカ、將來ニ於キマシテ、又市場ガ直リマスカレバ、何時デモ若シ據置期限內デアラナラバ、買上償却ノ方法ヲ以テ、又據置期限ガ經過スレバ、償還ノ方法ヲ以テ整理スルノデゴザイマスカ、此六分利付ヲイツデモ置イテ、殊ニ其六分利付タルヤ、海關稅ガ抵當ニナツテ居ルト云フヤウナ、甚ダ面目ノ宜クナイトコロノ六分利付ト云フヤウナモノヲ、徒ラニ長ク存置シテ置クノ必要ハナイノデゴザイマスカ、相當ノ時機ニハ又五分利ヲ四分利ナリ、又四分半ニ換ヘルコトハ市場ノ景況ニ依ツテ變更ノ出來得ルコトデアル、其歐羅巴ノ市場ガ決シテ此日本ノ公債ト云フモノガ價ガ他ノモノト比較シテサウ下ツテハ居リマセヌノデ、非常ニ此日本ノ財政ニ付イテハ別段ニ從來ヨリモ値ガ下ツタト云フコトハナイ、今日ノ金利ノ割合カラ打算シ、各國ノ公債ニ比較シテ

日本ノ公債ガ廉イコトハナイノデアリマスカ、今回ノ五歩利發行ハ相當ノ價值段ト思ヒマスカ、併シ金融市場ト云フモノハ決シテ軟デハナイ、米國ノ獨逸デアドモ五歩利デアハマダ市場ノ金融ガ許サヌカラ、此度ハ加入シナイト云フコトデアッタカラ、倫敦ト巴里ニ限リマシタノデスカ、固ヨリ兩國ノ一殊ニ英國ノ如キハ同盟國デアリ、又佛蘭西ノ如キハ最モ親密ナ國デアリマスカ、其兩國人民ノ深厚ナル同情ト云フモノガ、多ク此度ノ公債ノ出來マシタコトニ加ツテ居ルト云フコトハ勿論デアリマスカ、ケレドモ兩國ノ市場ニ於テハ米國若クハ獨逸ヨリモ多少金融ニ餘地ガアリマシタガ故ニ、成功致シマシタ、サウ云フ譯テ政府ニ於キマシテハ今日ノ短期ノ公債ヲ借替ヘテ、成ルベク此短期ノ公債ガ續々重テ來ヌヤウニ、先キハ餘地ヲ作テ置クト云フコトハ必要ト考ヘテ居リマスカ、何レノ點カラ見マシテモ六歩ガ五歩ニ變リ、又先進シテハ四歩半トカ四歩ニ換ヘテ行クコトハ相當ノ順序ト考ヘマスコトデアリマスカ、ツレ以上ハ或ハ質問者ガ當局者デアリナサツタナラバ、又質問者ノ御考デ時期ヲ御選ビニナルデアリマセウガ、政府ニ於キマシテハ財政代理人ヲ出シテ各國ノ事情ヲ調査シタ上テ決定シマシタコトデアリマスカ、相當ノ時期ヲ得タモノト信ジテ居リマスカ

○早速整爾君 チョット大藏大臣ニ質問致シタイノデアリマスカ、歐羅巴市場デ四歩ノ利付、若クハ四歩半利付ノ公債ヲ募集スルコトガ出來タノデアルガ、五歩利付ニシタ、ツレハ手取ガ多クテ算盤ノ都合ガ其方ガ宜イカラシテ殊更ニ五歩利付ニシタノデアルト云フ御説、チョット御尤ニ承リマシタケレドモ、一時手取ガ宜カッタト云フコトガアルニシテモ、此五分利ノ公債ト云フモノガ將來ニ殘ツテ居リマシタト云フコト、是カラ後公債ヲ募集スル、若クハ民間間デ以テ外資ヲ輸入スルト云フコトノタメニ此五分利付ト云フコトガ、非常ニ邪魔ニナリハシナイカト思フ、ツレサウ云フコトガ大藏大臣ノ頭ニドウ御考デアルカ、四歩利付ノ公債ガ募集ガ出來ネバ四歩半利付ニシテ置イタ方ガ將來ノタメニ非常ニ利益デアルト思フノデアル、ツレバ尙且一時算盤ノ都合ガ宜カッタカラ五歩利付ニシテ置イデ、是ハ帝國ノ體面ニ關係シナイ、將來ノ經濟上ニ於テ少シモ不利デアナイ、利益デアルト御認メタルカ、ツレカラモウ少シ後ナラバ又四歩利付モ出來ルデアラウ、四歩半利付ノ公債モ募集スルコトガ出來ルデアラウト云フ唯今御答ガアツタヤウデゴザイマスカケレドモ、今度ノ外債借替ニ付キマシテ、今少シ之ヲ猶豫シテ、サウシテ今少シ有利ナ條件デ之ヲ募集スルコトガ出來ル御見込ガ立タナカッタノデアルカドウカ、歐羅巴ノ金融市場ノ狀況ガ斯クノデアル、然レドモ今少シ待テバ何トカモウ少シ有利ナ條件ヲ募集スルコトガ出來タト云フ時期ニ付イテ御見込ガ立タナカッタノデアルカ、此二點ヲ承リタイ

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 御答致シマス、四歩利付ヲ今發行致シマシタト云フ、非常ニ手取ガ減リマスカ、ツレハ却テ不利ト考ヘマス、財政上ノミナラズ又經濟上ノ關係ニ於テモ不利ト考ヘマス、又近キ將來ニ於キマシテハ斯ノ如キ巨額ノ借替ヲスル時期ハ唯今ノ如キ好イ時期ハナイト信ジマシタガ故ニ決行致シマシタ

○議長(杉田定一君) 日程第一、樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案、第一讀會、議案朗讀

第一 樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提 第一讀會)

(書記朗讀)

樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案
法律ノ全部又ハ一部ヲ樺太ニ施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

但シ左ノ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

一 土人ニ關スルコト

二 行政官廳又ハ公署ノ職權ニ關スルコト

三 法律上ノ期間ニ關スルコト

四 裁判所又ハ裁判長カ職權ヲ以テ選任シ又ハ選定スル辯護人、訴訟代理人又ハ訴訟承繼人ニ關スルコト

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(內務大臣原敬君登壇)

○內務大臣(原敬君) 樺太ニ施行スベキ法令ニ關スル法律案ニ付イテ簡單ニ說明致シマス、豫算會議其他ノ機會ニ於テ政府ノ所見ハ一通リ申シテ置キマシタガ、我新領土トナリマシタ樺太ニ付イテハ政府ハ臺灣ニ於ケルガ如キ制度ハ取ラヌ積リテアリマス、即チ六十二號ノ法律ニ依リテ臺灣總督ニ律令ヲ發布スル——法律ニ代ヘルベキトコロノ律令ヲ發布スル權力ヲ與ヘタイト云フコトハ、樺太ニ於テハ致サヌ積リテアル、故ニ樺太ニ關スル法律事項ニ於テハ普通ノ法律ヲ制定スル手續ニ依リマシテ、議會ノ協贊ヲ經テ、相當ノ法律ヲ發布スル積リテアリマス、即チ今回モ既ニ當院ヲ經過致シマシタ租稅ニ關スル法律ノ如キ、裁判所設置ニ關スル法律ノ如キ、皆此原則ヨリ割出シマシタノデアリマス、故ニ樺太ニ於キマシテハ其施設致ストコロノ事柄ニハ相違ハアリマスケレドモ、方針トシテハ内地同様に看做シテ居ルノデアアル、併ナガラ新ニ領土ニ歸シマシタトコロノ樺太ニ、現在行ハル、トコロ若クハ將來行ハレマストコロノ法律ガ、其儘内地同様に樺太ニ全部施行セラル、ト云フコトハ、樺太ノ今日ノ事情ニ於テハ出來ヌコトデアリマス、是ハ現在ニ於テモ内地ニ於テ今日マデ施行致シマシタトコロノモノ、中ニモ、例ヘバ沖繩ノ如キ、又北海道ニ致シマシテモ特別ノ制度ヲ施イテ居ル、沖繩ノ如キニ於テハ内地ニ行ハレトコロノ法律ヲ其儘實施セラレテ居ラヌモノモ多イデアリマス、是等ノ例ヲ參酌致シマシタ樺太ノ今日ノ狀況ヲ顧ミマシテ、樺太ニ對シマシテハ其法律ヲ若クハ將來制定セラルトコロノ法律ヲ實行致スニハ、樺太ノ事情ニ考ヘマシテ、法律ノ全部又ハ一部ヲ樺太ニ施行スベキモノハ、無論ニ施行致シ、之ヲ施行スルニ就イテハ、勅令ヲ以テ其度毎ニ斯クノノ法律ノ全部、又ハ一部ヲ施行スルニ就イテハ、勅令ヲ以テ其度毎ニ樺太ノ今日ノ事情ニ適ストコロノ措置デアラウカト信ジマス、サリナガラ其中ニ付キマシテ、從令法律ノ全部又ハ一部ヲ施行致ストシテモ、其法律中ニ其儘行ヒ得ザルコトガアリマス、是ハ申迄モナク茲ニ掲ゲマシタトコロノ土人ニ關スルコト、是ハ内地ノ普通ノ人民同様にハ支配スルコトガ出來ヌ、又ハ行政官廳、例ヘバ今日ノ樺太ハ內務省ノ直轄ニ置ク積リテアリマスガ、他ノ官省ノコトガ法律中ニ書イテアリマシレバ、其官廳ニ於テ執行スルコトノ出來ヌ場合ガアリマス、又ハ法律上ノ期間殆冬冬季間ハ交通ヲ絶タナケレバナラヌ所デアリマスカラ、何十日ニシテ行フト云フヤウナコトハ、樺太ニ出來ヌコトガアリマス、是等ノコトハ樺太ニ對シテハ、相當ノ取除ケラ致ス、便利ヲ圖ッテ實行致ス外アルマイト考ヘマス、コレ等ノコトハ此法律ニ規定致シマシテ、此以外ノモノハ無論左様ナル手續ヲ執ラヌノデアリマスガ、是又ノ列舉致シマシタ所ノ箇條ニ依リテ、樺太ニハ成ルベク内地ニ行ハル、トコロノ法律ノ全部、又ハ一部ヲ施行スルコトヲ手續ヲ執リタイト云フノデアリマスカラ、此ノ事ヲ說明致シマス

○花井卓藏君 質問ガアリマス、唯今內務大臣ノ演說ヲ承リマス、本案ハ臺灣ニ於ケル六十二號トハ趣キヲ同ジウセザルモノデアルト、斯様ニ申サレタ、成程樺太ニ臺灣ト

云フダケハ趣キヲ同ジクセナイノデアアル、又規定セラレタル内容ニモ、勿論廣狹ノ差ガアルノデアアル、併ナガラ法律事項ヲ勅令ニ委任スル關係ニ於テハ、六十三號ト何等ノ選ブトコロハナイノデアリマス、私ハ斯様ヲ疑フ起スノデアリマス、本院ニ於テ既ニ樺太ニ於ケル裁判所設置ノ法案現ハレ、續イテ樺太ニ於ケル特別會計ノ法案現ハレ、而シテ又樺太ニ於ケル租稅ノ法案現ハレ、即チ樺太ニ於ケル法律關係ハ、其大ナルモノニ於テ當院ノ決議ニ附セラレ、正式ノ立法軌道ニ依ラルベキコトヲ示サレテ居ル、今日ニ於テ、土人ニ關スルコト、行政官廳並ニ公署ノ職權ニ關スルコト、法律ノ期間ニ關スルコト、或ハ辯護人代理人ニ關スル事項ノ如キモノガ、何ガ故ニ除外セラレテ、特別ノ規定ニ讓ラナケレバナラヌ必要ガアラウカ、昨日マデ大ナル樺太ニ於ケル法律ハ、當院ノ協贊ヲ受ケラレテ居ルノデアアル、然ラバ茲ニ掲ゲラレタ小ナル四ノモノニ付イテモ、ヤハリ法律事項トシテ、立法關係トシテ當院ニ前ノ三案ノ如ク、院議ヲ求メラレテ、而シテ協贊ヲ經ラルルト云フコトガ當然デアラウト思フ、特ニ此四ツヲ除外セラレタル理由ガ甚ダ分ラヌノデアリマス、此點ニ付キマシテ確カニ申ハ違ヒマスケレドモ、六十三號ノ性質ヲ帶ビテ居ルモノデアルト云フコトハ、疑無キ話デアアル、是ハ頗ル大ナル問題ト存ジマスカラ、唯今ノ點ニ付イテ大體ノ御説明ヲ煩ハシテ置キタイト思ヒマス、本員ハ必シモ之ニ反對スルモノデモナケレバ、又贊成スルモノデモアリマセヌガ、此四ツヲ除外セラレタル理由ヲ伺ヒタイ

(內務大臣原敬君登壇)

○內務大臣(原敬君) 唯今花井君ノ御質問ニ御答致シマス、是ハ勅令ヲ以テ法律事項ヲ規定スルノデアリマセヌ、既ニ相當ノ手續ヲ經、議會ノ協贊ヲ經テ、成立致シマシタトコロノ法律ヲ、樺太ニ實施スルニ際シマシテ、實際實施ノ出來ヌモノガアリマス、コレ等ニ付イテハ或ハ一部ヲ實行シ、全ク實行シ得ザルモノモアリマスカラ、之ヲ選シテ樺太ニ實行スル、其實行スルニ際シマシテ、例ヘバ大藏大臣ト法律ニ書イテアリマシテ、其實際大藏大臣ハ樺太ニ職權ヲ及ボスコトノ出來ヌ仕事ニ付イテハ、內務省ガ直轄ヲ致シマスカラ、是ハ內務大臣トシテ其仕事ヲ致サナケレバナラヌノデアリマス、又農商務大臣——例ヘバ森林法、其他ニ於テ農商務大臣ト書イテアリマシテモ、實際內務大臣デナケレバ、樺太ニ於テテラ施行スルコトガ出來ナイ場合ガアリマス、何ガ故カト云フニ、樺太ハ今日ノ方針ニ於テハ、內務省ノ直轄ニ致シテ、內務省ガ當分一纏メニ致スト云フ方針デアリマスカラ、此役所ガ——所管ノ名前ト云フヤウナコトハ、此法律ヲ一部又ハ全部ヲ實行スルニ際シマシテモ、大藏大臣ハ必ズ大藏大臣デナケレバナラヌト云フト、其機關ヲ備ヘナケレバ行ハレマセヌカラ、是ハ內務大臣トシテ實行スル、斯ウ云フコトガ取除ケデアリマス、土人ニ關スルコトモ亦然リ、一部又ハ全部ヲ施行スルニ致シマシテモ、樺太ノ土人ニ對シテ之ヲ行フトコトガ甚ダ困難デアラウ、コレハ多少ノ取除ケラ設ケナケレバナラヌ、斯ウ云フ次第デ、又遠隔ノ土地デアリマスカラ、法律ノ施行期限等ニ對シマシテモ、必ズ二十日間、三十日間ト云フコトハ、事情ガ許サナイノデアリマス、是等ニ付イテ取除ケラ設ケルト云フコトデアリマスノデ、是ハ決シテ勅令ヲ以テ法律ニ代ヘルノデモゴザイマセヌケレバ、勅令ヲ法律事項ヲ規定スルノデアリマセヌ

○議長(杉田定一君) 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 審查ヲ付託スベキ委員ハ九名トシ、議長指名ヲ望ミマス
○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、議長指名、九名ノ委員ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、其通り決シマス、日程第三、海港
檢疫法中改正法律案、第一讀會、議案朗讀

第三 海港檢疫法中改正法律案 政府提出、貴族院 第一讀會
(書記朗讀)

海港檢疫法中改正法律案
海港檢疫法中左ノ通改正ス

第四條第一項第三號中「船舶ト交通シタルモノ」ヲ「船舶ト交通シ其ノ他傳
染病毒ニ汚染シタル疑アルモノ」ニ改ム
第五條ニ左ノ一項ヲ加フ
警察官吏ニ於テ第一項ノ事實アリト認メ其ノ旨ヲ告知シタル場合亦前二
項ニ同シ

第六條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 現ニ傳染病患者若ハ死者アルモノハ停船ヲ命シ患者死者ノ處分ヲ指
示シ船舶其ノ他ノ消毒方法若ハ鼠族ノ驅除ヲ施行シ且必要アリト認
ムルトキハ命令ノ定ムル期間船客乗組員ヲ檢疫所又ハ船中ニ停留ス
ルコト

同條ニ左ノ一號ヲ加フ

六 發航地若ハ寄港地ノ狀況又ハ船舶ノ狀態ニ依リ消毒方法又ハ鼠族ノ
驅除ヲ施行スルコト

第九條第一項中「消毒」ノ下ニ「又ハ鼠族ノ驅除」ヲ加ヘ、第二項中「消毒費」
ヲ「消毒又ハ鼠族驅除ニ關スル費用」ニ改ム

第十條ノ二 檢疫官吏ハ職務執行上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ
無償ニテ船舶ニ乗込ムコトヲ得

(內務大臣原敬君登壇)

○內務大臣(原敬君) 海港檢疫法中ノ改正案ニ付イテ大體ヲ説明致シマスルガ、是
ハ極メテ簡單ナ法律アリマシテ、サマデノ説明ヲ費スコトハナカラウト思ヒマスガ、要スル
ニ是ハ「ベスト」ノ如キ鼠族ノ驅除ヲ必要ト致スガ如キ事柄ハ、現在ノ法律中ニハ甚ダ
缺點ガ多イデアリマス、故ニ是等ヲ補ヒマシテ、此消毒豫防ノ完全ヲ期スルガためノ改
正案デアリマス、大體サウ云フヤウナ次第デアリマシテ、其他ハサマデ説明ヲ要スル程ノ重
大ナル改正ハゴザイマセヌガ、要スルニ此「ベスト」ノ如キ、傳染病ヲ豫防スルためノ缺點
ヲ補フニ過ギヌデアリマス

○議長(杉田定一君) 別段御質問ガナイヤウデゴザイマスノデ、日程第四、右議案ノ
審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 此案ハ九名ノ委員、議長指名アラシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、九名ノ委員、議長指名ニ御異議ハアリ
マセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——日程第五、刑法改正案、第一

讀會ノ續、磯部四郎君

第五 刑法改正案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長)

(磯部四郎君登壇)

○磯部四郎君 刑法改正案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、此刑法案ニ付キマシテ
ハ、委員會ニ於テ餘程鄭重ニ調査ヲ致シマシタルデゴザイマス、其大體ノ方法ト云フモノハ、
特別委員ハ六十三名デアリマシテ、其中更ニ二十八名ヲ以テ特別ニ、特別ノ委員ヲ組織
致シマシテ、其處ニ於テ逐條審議ハ一旦終リマシテ、ツレカラ更ニ委員會總會ニ於テ、又再
ビ逐條審議ヲシテ、此委員會ヲ終了致シマシタルデゴザイマス、調査ノ點ニ於テハ
稍ハ缺點ガナイト考ヘマス、就キマシテ此大體ノ刑法改正案ニ付キマシテハ、大體ニ於キ
マシテハ貴族院ノ修正ニハタント反對シタル所ハナイノデゴザイマス、是ヨリシテ貴族院ノ
修正中ヨリ、更ニ委員會ニ於テ修正ヲ加ヘマシタル點ヲ一々申上ゲマス、其第一ハ刑法ノ
五十八條ノ第二項デゴザイマス、此五十八條ノ趣意ト申シマスモノハ、即チ初犯トシテ裁
判確定ヲ經マシテ、ツレカラ其刑ノ執行中ニ被告ノ人ガ初犯ノ者ニアラズシテ、再犯者若
クハ三犯者デアラモノガ、發覺致シマシタル場合ニ於テハ、其再犯者若クハ三犯ニ關係シマ
スルトコロノ刑ヲ加ヘ、執行中ニ追加シテ、之ヲ定ムルト云フコトガ、第一項ノ規則デゴ
ザイマス、而シテ第二項ニ於テハ、其刑ノ執行ヲ終ツタカ、又ハ刑ノ免除ヲ得タ時分ニ
ハ、ドウスルカト云フ問題ガ第二項ノ規則デアリマシテ、之ヲ詳細ニ分析致シマス、
原案ノ儘デハ少シクドウモ差支ヲ生ジマシタルデ、ツレデ第五十八條ノ第二項ヲ修正致
シマシテ、懲役ノ執行ヲ終リタル後、又ハ其執行ノ免除アリタル後、發見セラレタルモノ
ニ付イテハ、前項ノ規定ヲ適用スト、大體ノ趣意ハ同一デアリマス、唯實際ニ生ズベキ
トコロノ疑ノ點ヲ正シタルデ修正ヲ加ヘマシタルデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、政府
委員ニ於テモ、決シテ反對ハナカッタ修正デゴザイマス、ツレカラ其次ニ致リマシテハ、第
七十七條ニハ大修修正ヲ加ヘマシタル、是ハ內亂ニ關スル始メノ條項デゴザイマス、其內
亂ニ關係シマスルトコロノ第一項、即チ此死刑、無期徒刑若クハ何年以上ノ懲役ト
ザリマス、此首魁者ヲ罰スルニ內亂ニ關シタルモノガ、重過ギルト云フノデ、是モ委員會ニ於
テ大多數ヲ以テ削除ニナリマシタルデゴザイマス、尤モ此點ニ付キマシテハ、政府委員ハ五十
八條ノ修正ト異ジテ反對デゴザイマス、併シ委員會ハ大多數ヲ以テ此七十七條ノ死
刑削除ノコトニハ、委員會ハ大多數ヲ贊成ガアッタデゴザイマス、ツレカラ其次ハ第九十
六條、是ハ官吏侮辱罪ニ關係シマスルトコロノ條文デゴザイマス、此官吏侮辱罪ト云フ
コトハ、是ハ委員會ニ於テハ、全ク九十六條全部ヲ削除ニナリマシタル、サウシテ是マデノ官
吏ニシテ侮辱ヲ受ケテ、殘念ト思フ人ハ、是ハ不敬罪ニ依リテ自カラツレケル勇氣ヲ以
テ、訴ヘマシタル方ガ然ルベキデアラウト、斯ウ云フ委員會ノ議論デ、是モ委員會ノ大
多數ヲ以テ削除ノ決議ニナリマシタル、併シナガラ此官吏侮辱罪ニ付キマシテモ、政府ニ
於テハ反對デゴザイマシタル、ツレカラ第九十八條中ノ所謂是ハ兇徒聚衆ノ罪デアザリマス、
ソコノコトニ於テ、唯一度退ケト言ハレタルデ退カナッタ者ヲ直ク提ヘテ罰スルモノハ、
誠ニ氣ノ毒デアラル、就イテハ三回マデ解散ノ命令ヲ下シテモ、尙其場ヲ退カズシテ抵抗シ
テ騷擾者デケラ縛ルコトニシタル宜イト云フコトノ議論ガ出マシタル、是モ多數ヲ以テ第
百八條中ニ「解散ノ命令ヲ受ケタル雖モ尙退カサル者」ハ云々ト云フコトヲ修正ニ決議
致シマシタルデゴザイマス、ツレカラ第五ノ修正ハ、百二十條中ニハ斯ウ云フコトニナラデ、此
修正ハ宜イカ惡イカ宜シク御審議ヲ仰ギマス、百二十條ハ即チ故意ヲ以テ淫水セシ

刑法改正案 第二讀會
○花井卓藏君 本案ハ逐條ニアラズシテ、逐章ト云フ理窟ア、議題トセラレンコトヲ望ミマス

〔「ツンナコトハ議長ハ承知シテ居ル」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 此二讀會ニ於テノ審議方ハ一章ア、ヤルガ宜シカラウト思ヒマスガ、併ナガラ修正ノアル場合ニ於テハ各條ニ付イテ又審議スル必要ガ起ラウト思ヒマス、ソレハ各章ノ模範ニ依ッテ審議スルコトニ付コトニ致シテ宜シカラウト思ヒマス、先ヅ刑法第一編第二編、此總則デアリマスルガ、此總則ハ後廻シト致シテハ如何ゾイマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○花井卓藏君 唯今ノハ目錄ナシマス

○議長(杉田定一君) 目錄——目錄ハ後廻シト致シマス

○森田卓爾君 目錄ノ前ニ表題ガアリマス、是モ一緒ニ後廻シニ……

○議長(杉田定一君) 一緒ニ後廻シデス——刑法第一編第一章全部ヲ議題ト致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 諸君ニ申上ゲマスルガ、此第一章ノ中ニ箇條ノ修正ガアリマス、併シハ後段ニ於テ即チ此修正ノ結果、異動ヲ來スモノデアラウト思ヒマス、ソレデハ後段ニ於テ若シ他ノ箇條ガ削除等ニ依ッテ箇條ニ異動ヲ來ス場合ニ於テハ、ソレ等ノ整理方ハ議長ニ御一任下ッテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 議長ニ御一任下サルコトニ御異議ハナイト認メマス——此第一章ハ原案ノ通り御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、第二章第九條ヲ議題ト致シマス、花井卓藏君

〔「花井卓藏君登壇」〕

○花井卓藏君 諸君、第九條ニゴザイマス死刑ト云フ二字ヲ削リタイト云フ修正案デアリマス、死刑廢止ノ論ハ果シテ本會ニ於テ御採用ニナルヤ否ヤハ或ハ疑問デアアルカモ存シマス、併ナガラ私ハ數日前ノ請願委員會ニ於テ死刑廢止ノ請願ガ、全會一致ヲ以テ可決セラレタルノ報道ニ接シマス、必ズ請願委員會ノ決議通シ今日ハ迎ヘラルベキモノデアルト信ズルモノデアリマス、幸ニ御贊同ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ、此削除ノ一ツダケデ刑法改正ノ面目ト云フモノハ立ツモノデアルト私ハ信ズルモノデアアル、死刑廢止ト云ヘバ或ハ我國ノ實狀ニ鑑ミマシテ、尙早シト云フ説ヲ懷ク人ガ或ハアルカモ知レマス、反對スル論者ハ誰モ尙早シト云フ反對ニ外ナラヌデアアル、死刑ヲ存置スベキ格段ナル理由ノアルベキ者ハナイデアリマス、私ハ御承知ノ如キ誠ニ非文明ノ人間デゴザイマスルカラシテ、餘リニ文明デアルトカ日進月歩デアルト云フコトヲ申スノハ喜バヌデアアル、併ナガラ國ノ體面ヲ飾ルコトノ代表トモ申スベキ刑法典ノ如キハ、ヤハリ文明ノ潮流ヲ逐ハナケレバナラヌ、又日進月歩ノ刑制ノ理論ト云フモノヲバ逐ハナケレバナラヌ信ズルデアアル、洋服ノ襟ノ著物ハ日進月歩ヤ文明ナドハナクテモ宜ウゴザイマスガ、國家進運ノ代表物トモ見ルベキ法律ダケハ其ノ氣運ハ向ハシメタイト私ハ信ズルデアリマス、而シテ死

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 別段御異議モナイヤウデアリマスルデ採決ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、二讀會ヲ開クコトニナリマシタ

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

刑廢止ノ論ハ今日何レノ國ニ於キマシテモ、議論トシテ事實トシテ、何人モ之ヲ否定スルモノハゴザイマセヌ、誠ニ刑政革新ノ氣運ハ實際ノ利弊ヲ攻究致シマシテ、今ヤ死刑ノ存在ヲ容スベカラズト論結ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、諸君、死刑ト申スモノハ申上ゲル迄モナク、一ノ刑罰デアアル、人ノ生命ヲ絶ツノ刑罰デアアル、國家ガ刑罰權ヲ實行スルニ當テ人ノ生命ヲ絶ツニアラザレバ、其基礎確立セズト致シタナラバ、餘リニ刑罰ノ威信ト云フモノガ薄クハゴザイマセヌカ、宗教道德ノ感化ハ何等ノ權力モナク、何等ノ制裁モゴザイマセヌケレドモ、能ク罪惡ヲ未前ニ防ギ、又能ク罪惡ヲ遷善改過ノ道ニ導キ得ラル、ノデアアル、然ルニ國家ハ刑罰ノ權威ヲ藉リテ血ヲ見ルノ慘狀ヲ演ズルニアラザルハ、人ノ首ヲ斬ルニアラザレバ、生命ヲ絶ツニアラザレバ、刑罰ノ本義ト云フモノヲ遂行シ能ハズト致シマシタナラバ、國家ノ權力ハ宗教道德ノ感化力ニモ及バズト云フコトヲ證明スルモノト私ハ信ズルノデアアル、堂々タル國家ガ罪惡ヲ戰シテ其罪惡ヲ殺戮スルニアラザレバ、生存防衛ノ上ニ於テ困難デアアルト云フナラバ、是取リモ直サズ國家ハ罪惡ヲ以テ犯罪人ヲ以テ、己レノ一敵國トナスモノデアアル、犯人ト國家トノ力ノ同一デアアルト云フコトヲ自白スルモノデアアルト謂ハナケレバナラヌデアアル、私ハ斯ノ如キ權威ナキ刑罰アルヲ欲シナイ、刑罰權威アリテ初メテ效ヲ奏スルノデアアル、權威ナキ刑罰ヲ國家自カラ之ヲ用井ルニアラザレバ、刑罰ノ目的ヲ達シ能ハズト云フガ如キ、誠ニ刑法ノ權威ナキコトヲ告白シ、自ラ死刑ナル刑罰ヲ存置スル理由ヲ否定スルモノデアアル、併ナガラ成程存置ノ論モアル死刑ニ代フベキ良キ刑罰ガナカ、己ムヲ得ナイノデアアル、斯ウ云フ説ガゴザイマシタナラバ、私ハ喜シク聽キタイノデアアル、私ノ信ズルコロニ據レバ死刑以外之ニ代ルベキ良キ刑罰ハアルノデアアル法理——法律ガ現ニ教訓ヲ垂レテ居ルノニ思至リマシタナラバ、反對論者ノ御論ト云フモノハ何等ノ價ヲ有セヌコトニナルデアアラウト思フノデアアル、敢テ沿革上ノコトハ喋々シクハ申上ゲマセヌ、併ナガラ死刑トナル刑罰ハ全ク舊世紀ノ遺物デゴザイマシテ、所謂拷問ヲ採用致シテ居リマシタ刑事訴訟法ト兩立スベキ刑法ト舊思想デアアル、舊キ思想デアアル、磔デアアルトカ、獄門デアアルトカ、或ハ火炎デアアルトカ、或ハ鋸挽デアアルトカト云フ如キ、誠ニ野蠻ナル刑罰ノアリシ時代ニ於テ採用サレタ所ノ刑名デアアリマス（ノウノサウデナイト呼フ者アリ）左様デゴザイマセヌト云フ説ハ後デ拜聴致シマス、免ニ角野蠻國ニ於テ野蠻人ニ對スル刑罰デアアルト云フコトハ論ヲ俟タヌデアアリマス、故ニ磔、火炎、鋸挽ナドト云フガ如キ惡刑罰ノ制度ガ刑罰ノ本義ニアラズトシテ、除外セラレタル今日ニ於テハ、是ト同時ニ同一ノ結果ヲ生ズベキ死刑ト云フモノモ、同ジク存立ヲ容スベキ筋ノモノデアナイト私ハ信ズル、私ハ死刑ヲ存スルト云フコトヲ以テ實ニ國家ノ一大耻辱トシテ、刑罰觀念ノ基礎ヲ崩スモノト私ハ斷言致スノデアアリマス、加之此死刑ナルモノガ事實ノ上ニ於テ示ストコロノ結果ハ如何デゴザイマセウカ、特別豫防トシテ幾許ノ效驗アリヤ、一般豫防トシテ幾何ノ効驗アリヤ、之ヲ統計立ニ事實ニ徴シマシタナラバ、刑事政策ノ上ヨリ論究致シマシテモ、死刑存置ノ必要ナキ事柄ハ極メテ明白デアアルノデアアリマス、諸君、死刑ト云フモノハ私人ノ罪惡ヲ懲ラサナカメ國家自ラ罪惡ヲ犯スモノデアアルノデアアリマス、人ヲ殺スハ無道ナコトデアアル、極惡ナル犯罪デアアル是ニ於テ國家ハ刑法ナルモノヲ作り立テ、臣民ニ教ヲ垂レテ居ル、其教ヲ垂レシ刑法ガ其犯人ヲ懲ラスニ當テハ、敢テ自ラ其犯人トナテ國家自ラ犯人トナデ、此極惡ナル犯罪ヲ犯スノデアアル、犯ス勿レト教タルモノガ、自ラコレヲ犯ストスレバ、刑罰權ノ威信カ如何ニシテ保ツコトガ出來セウカ、殺人ノ行爲ヲ罰センガメニ法律自身ガ殺人ノ行爲ヲ爲スト云フノハ、是ハ死刑ニ於テ然リトナスノデアアル（ソコヲ再考シナケレバナラヌ、ツレガ間違ノ本ダ）ト呼フ者アリ）諸君、刑法ハ自ラガ死スル、即チ自殺スルト云フコ

トサヘモ之ヲ禁ジテ居ルノデアアル、自ラガ自ラヲ殺スト云フ事柄ヲ法律ヲ以テ禁ジテ置キナガラ、而シテ國家自ラハ他殺ヲ敢テスルト云フコトハ、如何ニモ私ハ刑罰權ノ觀念トシテ矛盾デアアルト信ズルノデアアリマス、ツレカラ又一面ヨリ考ヘテ見マスレバ、死刑ナルモノハ刑罰ノ觀念ヲ復讐ニ取ツテ居ルモノデゴザイマス、此等ノ説ハ固ヨリ古クヨリ傳テ居ルデアリマスカラ、私ハ敷衍シナイ、敷衍シナイケレドモ國家ハ即チ國家デアアル、公ノ機關デアアル、一私人ニ代テ一私人タル被害者ノ感情私憤ト云フモノヲ柔グベキ性質モノデアナイノデアアル、法律ハ一私人ノ代理人トナテ復讐行爲ヲナスベキ權力モ必要モ有シテ居ラヌデアリマス、是モヤハリ前ト同ジコトデアアル國家ガ復讐ヲ禁ジテ、自ラハ復讐ノ代理人ヲ爲スト云フ事柄ニナルノデアアリマス、實ニ私ハ此點ニ於キマシテ死刑存置ノ主義ト云フモノ、理想ト云フモノニ於テ共ニ矛盾ヲ結果ヲ齎シ來テ居ルモノト斷定セザルヲ得ヌデゴザイマス、又死刑ナルモノハデス、刑罰ノ觀念ニ最モ必要デアアルコロノ人ヲシテ、痛苦ノ念ヲ懷カシメナイモノデアアル、又改過遷善ノ途ヲ遮ギルモノデアアル、刑罰ノ目的ハ痛苦ノ中ニデス、痛苦ノ中ニ過テ改過遷善ニ遷ルノ道ヲ開クニアデ存スルノデアアリマス、然ルニ一度死刑ノ宣告ヲ受ケタルコロノモノガ、所謂死ヲ覺悟シテ罪ヲ犯シタルモノガアリト致シマシタナラバ——之ヲ國事犯罪ト致シマシタナラバ、鼎鑊甘キコト猶飴ノ如シト云ヘルガ如キ覺悟ヲ有スルモノハ、痛苦ヲ感ゼズ、又自ラ信ジテ好キコトヲナシタルモノナレバ、改過遷善ノ道モナイ答デアアル、放火、溢水、殺人ナドノ死刑ニ該當スベキ犯罪ニ付イテモ、調査ヲ致シ見マスレバ、何レモ皆憤怒デアアルトカ、怨恨デアアルトカ、或ハ痴情デアアルトカ、嫉妬デアアルトカ云フヤウナ關係ニ兆サレテ起ルベキ犯罪デアアル、彼等ハ此犯罪ヲ犯ス當時ニアリマシテハ、深思熟慮ヲ爲スノ暇ナク、此罪ヲ犯シタナラバ、如何ナル危害ガ社會ニ起リ、己ハ如何ナル刑罰ニ處セラルモノデアアルカト云フ事柄ナドニ頓著ハ致サナイノデアアル、憤怒ノ向フトコロ、怨恨ノ向フトコロ、嫉妬、痴情ノ走ルトコロ、知ラズ識ラズニ罪ヲ犯スノデゴザイマスカラシテ、固ヨリ彼等ニ向テ死刑ノ宣告ヲ致シマシタトコロデ、彼等ハ何ノ痛苦モ感シナイ、自カラ覺悟ヲ爲シテ行ヒタル仕事デゴザイマスカラシテ、是ガ不善ナリ過テナリトハ信ジナイ、從テ改過遷善ノ道ヲ授ケント欲シテ彼ハ拒ンデ之ヲ容レナイデアアラウ、併ナガラ若シ之ヲ社會ト離隔シテ畫尙暗キ獄中ニ繋ギ、家庭ヲ離レ、社會ヲ離レ、妻子アリト雖モ見ユルヲ得ズ、親戚アリト雖モ見ユルヲ得ズト云フ境遇ニ置イテ、日夕ニ鐵鎖ノ下苦役ニ従ハシメテ彼自身ガ懺悔スルトコロノ聲ヲ聞ケヨ、溢水罪ノ大ナルコト、放火罪ノ大ナルコト、殺人罪ノ大ナルコトヲ反省シテ、成程怨恨ノ餘リ、憤怒ノ餘リ、一朝ノ過テニ走テ、斯様ナ犯罪ハシタモノ、偕ア斯様ナ痛苦ノ生活ヲシテ見レバ、如何ニ猛惡ナルモノト雖モ本善ノ善ニ反ルベキ一條ノ光明ト云フモノヲ望マザルモノハ、私ハアルマイト思ヒマス、家庭ニハ歸リタイ、社會ニモ歸リタイ、父母ニモ會ヒタイ、妻子ニモ會ヒタイト云フ念情ハ、痛苦ノ中ニ知ラズ諷ラズ彼ノ心的感情ト云フモノヲ柔ゲテ、本善ノ善ニ反ルベキ——反省ノ念モ起スニ相違ナイノデアアル、而シテ是ハ死刑以外ノ或ル刑罰ニ於テ保タル、ノデアアリマス、私ハ死刑ヲ廢シテ之ニ代ルベキ長期ノ自由刑ヲ以テセントスルモノデアアリマス、斯クスレバ痛苦ノ中ニ改過遷善ノ道ヲ開クト云フ刑罰ノ理義ヲ刑法ノ上ニ表明スルニ於テ、誠ニ一舉兩得デアアルト私ハ信ズルモノデアアリマス、反對論者ハ或ハ此點ニ關シテ恰モ罪人ト云フモノヲ以テ、敵カ仇カノ如クニ心得テ、彼等ハ何處マデモ撲滅セシムベキモノデアアル、痛苦ノ中ニ改過遷善ノ光明ヲ授ケルナドハ餘計ナ話デアアルト云フ論ヲセラル、方ガアルカ存ジマセヌケレドモ、ツレハ甚ダ暴論デアアル、刑罰ノ觀念ヲ廢却シタル論デアアルト私ハ信ズルノデアアリマス、又死刑存置ノ論者ガ屢々唱道致シマスル、私モ冒頭ニ於テ申上ゲマシタル、即チ一般豫防並ニ特別

豫防トシテ若干ノ效驗ヲ現スヤト云フ點ニ關シマシテハ、明カニ例ヲ歐羅巴ニ取ルヲ要セズ、我國ニ於テ立派ナ實例ガ示サレテ居ルノデアリマス、監獄ニ從事スル人々ノ團體ニ於テ發行セラル、トコロノ雜誌ヲ讀シテ見マス云フト、是等ノ事例ハ幾十幾百ノ多キヲ重ネテ居ルノデアル、即チ京都ノ監獄ノ報告ラシキ一ノ論文ヲ監獄協會雜誌ニ於テ見マシタ、一人ノ老婆ガゴザイマシテ、親類モナケレバ縁者モナイ、親モナケレバ子供モナイ、是ニ於テ火ヲ放ケタナラバ必ズ殺シテ貰ヘルニ違ヒナイ、鐵道往生モイヤデアル、身ヲ投ゲルノモイヤデアル、ドウカ絞首臺上ニ於テ殺シテ貰ヒタイト云フ一ノ考ヲ起シタ、捕ヘラレテ裁判ニ附セラレタトコロガ、情狀ノ酌ムベキトコロガアルト云フノデ、無期徒刑ニ處セラレテ獄中ニ於テ日々獄吏ニ訴ヘルトコロノモノハ、何デアルカト云ヘバ、元來私ハ死ニタイガ故ニ罪ヲ犯シタノデアル、絞罪ニ處シテ貰ヒタイガタメニ罪ヲ犯シタノデアル、然ルニ死一等ヲ減セラレテ此苦痛ヲ死ヌルマデ授ケラレテ吾ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナクナタ、汽車往生ヲシヤウト思フタノモ止メ、身ヲ投ゲヤウト思フタノモ止メ、國家ノ刑典デ火ヲ放ケレバ殺スト書イテアルカラ、殺シテ貰ハウト思フテ放火シテモ殺シテ貰ヘヌハ遺憾デアルト云フ苦情ヲ述ベタル一ノ事實ガ揭ゲラレテアル、私ハ多クノ議論ヲ致シマセヌ、死刑ナルモノハ所謂特別豫防トシテドレ程ノ效能ガアル、竝ニ一般豫防トシテドレ程ノ效能ガアル、死ヲ覺悟シテ爲ス犯人ニ對シテ何等ノ效用ヲナスカト云フコトハ、此一端ニ於テ知り得ラレルノデアリマス、特別豫防一般豫防ノ論ヲスル人ハ死刑ナドト云フモノハ刑法ノ上ニ書イテ置イテ、唯威嚇ヲスル道具ニ用井ルダケノコトデアル、決シテ之ヲ行フ趣意デハナイケレドモ、死刑ガ存在致シテ居タナラバ、人々相戒メテ必ズ此死刑ニ該當スベキ罪ヲ犯サナイデアラウ、鬼面人ヲ威スノ方法デ、看板ノタメニ掲ゲテ置クノダト云フコトヲ學者モ唱ヘテ居ルモノガアルノデアリマス、併ナガラ是ハ鬼面デアル、鬼ノ面デアル、威スタメニ造ラレタ鬼ノ面デアルト云フコトヲ早ク已ニ人ガ知ツタナラバ、鬼面遂ニ鬼面ニアラズ、一向威嚇ノ用ヲ爲サヌデアリマセヌカ、ノミナラズ行ハナイデモ看板ニ存スルコト云フカ如キ事柄ハ、刑制必罰ノ原理ヲ無視スルノ甚シキモノデアリマス、刑ハ行フベキガタメニ存スルノデアル、存スル以上ハ必ズ行フノデアル、行ウテ而シテ後如何ナル效果ヲ生ズルカト云ヘバ、何等ノ利益ヲモ必要ヲ生シ來ラヌト云フ事柄ハ、唯今マデ申上ケタ通デアル(磯部四郎君「マダ澤山アリマス」カト呼フ)又是モ事實ノ論デゴザイマスガ死刑ト云フモノハ誤判ヲ回復スルニ途ナキ刑罰デアリマス、恐クハ磯部君アタリノ豫想セラレタルノモ此點デアラウト思フ、駁論ノ御準備ニナリマシタノモ、此點デアラウト思フ、是ハ昔カラ磯部君ノ崇拜スル佛蘭西ノ學者モサウ言フデ居リマス、死刑ハ回復スルコトノ出來ナイトコロノ惡刑デアル、人誰カ過チナカラン、裁判官モ人デアル、ソレ故ニ若シ一旦過チタナラバ、ドウスル、幽明所ヲ異ニシテハ人間界ノ裁判所ハ閻魔ノ廳ニマデ交涉スル譯ニハイカヌカラシテ、必ズ此誤斷ト云フ事柄ヲ恐レテ、誤斷ト云フ事柄ヲ憂ヘテ、死刑ト云フモノヲ全然廢止シナケレバナラヌト云フノハ是ハ極ク古イ說デアデ、最モ又勢力アル說ナノデアル、裁判所ガ誤斷ヲシテ人ヲ殺シテ責任ナシト云フ事柄ハ、由々敷大事デアリマス、是モ私ハ論ジテ見タイノデゴザイマスケレドモ、申シタイハ申シタイノデゴザイマスケレドモ、茲ニハ略シテ置キマシテ、我國ニ於ケル實狀ニ付イテ一ツ御話ヲシタイト思フ、刑法案ノ審查ニ付セラレルニ當リマシテ、政府ハ吾々ニ一ノ表ヲ示サレタ、明治三十三年ヨリ明治三十八年ニ至ル六年間ノ表デゴザイマス、此表ニ依テ見マスルト云フト、此六年間ニ於テ死刑ノ宣告ヲ受ケタルモノハ百十八件デゴザイマス——百十八件六年間ニ死刑ノ宣告ヲ受ケタルモノハ百十八件ノ死刑ト云フモノガ如何ニ誤斷ヲ致シテ居ルカト云フ事柄ヲ次ノ表ガ示シテ居ル、百十八人ノ被告人ハ交

不服デ以テ上訴ヲ致シタトコロガ、第一審ニ於テ言渡シタ死刑ノ裁判ハ惡ルイノデアアル、是ハ無罪ニナツテ宜シイノデアル、是ハ禁錮ニナツテ宜シイノデアアル、是ハ免訴ニナツテ宜シイノデアアル、若クハ其他ノ有期刑ニシテ宜シイモノデアルト云フコトデ、免ニ角死刑ヲ否定セラレタル件ガ八十七件アル、六年ノ間二百十八件ノ死刑ノ言渡ラシテ、直チニ八十七件デケハ誤斷デアルト云フコトヲ表ガシテ居ルノデアル、僅カニ三十一件ト云フモノガ慥カニ死刑デアルト云フ事柄ヲ表ガシテ居リマスケレドモ、是モヤハリ厭世觀ヲ以テ京都ノ御藥サシノ例ヲ追ヒマシタナラバ、或ハ獄中ニ於テ自カラ死ヌルガ宜イト云フ覺悟ヲシテ、此裁判ニ満足シタモノガ幾人アルカ知レヌ、眞ニ死刑ニ該當スルモノハ或ハ五件カ六件カモ知レナイト思フ、ソレハ餘リ少ナイト致シマシタトコロガ、免ニ角國民ノ生命ヲ百十八人デケハ絞メテ宜シイト云フ裁判ヲシテ、八十七件デケハ間違ッタト云フコトヲ表ガシテ居ル以上ハ、確カニ死刑ト云フモノハ誤斷救済スベカラザルモノデアアルカラシテ、慎マナケレバナラナイト云フ實例ガ示サレテ居ルト私ハ考ヘル、等シク刑罰デゴザイマスル以上ハ、私ハ法律ノ授ケタル權利利益ハ固ヨリ均一ニシナケレバナルマイ、一般ノ刑事犯人ト云フモノハ痛苦ノ中ニ改過遷善ノ途ヲ開イタルト云フ法律ノ下ニ支配セラレテ居ル、然ルニ死刑犯人ニ限リテ、此刑罰觀念ニ除外スルコト云フ事柄ハ、國ノ犯人待遇ニ於テ二者異ナルモノト論定セザルヲ得マセヌ、異ナレリト論定セラル、ヨリモ、刑罰觀念ニ二ツノ異ナル主義アルモノト云フコトヲ表明スルモノト論斷シナケレバナルマイト私ハ思ヒマス、御承知ノ如ク裁判ノ誤斷ト云フモノハ、獨リ死刑バカリデアリマセヌ、一般自由刑ニ於キマシテモ、財産刑ニ於テモ慎マナケレバナラヌ、ソレ故ニ法律ハ誤斷救済ノ途ヲ授ケテ居ル、或ハ非常上告、再審、或ハ假出獄制度ト云フモノヲ設ケマシテ、確カニ死刑以外ノ自由刑ト財産刑トニ對シテ誤斷救済ノ活路ヲ授ケテ居ル、然ルニ一旦死刑ニ處セラレテ執行ヲ終ヘタモノハ、後ニ非常上告ノ理由アルコトヲ發見スルモ、再審ノ理由アルコトヲ發見スルモ、又假出獄ノ恩典ニ浴シ得ベキ事情ヲ發見スルモ、死シタルモノハ再ビ蘇セズ如何トモスベカラザルモノデアリマス、等シク是レ刑法ノ授ケタル恩典利益デアル以上ハ、又等シク其犯人デアル以上ハ、死刑犯人ニノミ之ヲ授ケズシテ、其他ノ犯人ニ授ケル、死刑犯人ニ薄ク、其他ノ犯人ニ厚イト云フコトハ、刑罰ガ憲法並ニ行政法ノ恩典ニ依テ授ケベキ利益ト云フモノニ等差ヲ附ケルト云フコトニ相成リマス、是モ理義一貫セザル論ト私ハ信ズルノデアリマス、大體ノ主張ノ論旨ハ唯今ノ通り、其他死刑ヲ存置スベキ理由トシテ死刑廢止ニ反對ナル論據ト云フモノ、アルヲ發見致シマセヌ、然ラバ汝ノ所謂死刑ニ代ルベキ其刑トハ何ザヤト云フ御尋ニ對シテ御答スベキ責任ガ私ニハアルノデゴザイマス、是ハ私ハ死刑ニ代フルニ三十年ノ有期刑ヲ以テスルモノデゴザイマス、成程三十年ト云フ年限ハ、人ニ依リマシテハ死刑同様ニ相成ルカモ知レナイ、併ナガラ是ニ三十年ト云フ年限ヲ付シテ置クコトハ、確カニ痛苦ノ中ニ改過遷善ニ導クト云フ理義ニ適フノデアル、又非常上告、再審、假出獄等ノ恩典利益等ニ浴セシメ得ベキ餘地ヲモ存シテ居ルノデアル、誤斷——誤リタル裁判ヲ救済シ得ルベキ利益モアルノデアル、而シテ此三十年ト云フ論ハ、私ハヤハリ現行刑法、否ナ、改正刑法案ヨリ編立デタル論デアリマス、私ヲシテ言ハシメマシタナラバ、死刑ニ代フルニ三十年ノ有期刑ヲ以テスルト云フコトハ、改正刑法案ニ明文ガアルト云ヒタイ位デアル、ソレハ時効ノ規定デアル、死刑ニ處セラレタルモノハ三十年ヲ經過シタルトキハ時効ガ完成スルト書イテアル、人ヲ殺シテ死刑ニ處セラルベキモノガ、三十年ノ間逃ゲテ逃ゲ終セタナラバ國家ハ、遺忘ノ原則ニ基イテ其罪ヲ問ハナイノデアアル、捕ヲ逃レテ跡ヲ晦マシテ三十年隱レテ居ルト、死刑犯人ト雖モ忘ラ推測セラレテ國家ガ忘レルナラバ、離隔シタル監獄——世界ヲ縮メテ苦シ

ク繋ガレテ居ル、娑婆ノ人間トハ交通ヲマルテ絶ツテ居ルノデゴザリマスカラシテ、二十年モ置イタナラバ、ヤハリ世ノ中ニ現ハレテモ、懸レテ居ルモノト同シヤウニ遺忘ノ原則ヲ應用シ、國家ガ忘レテ宜シイデハゴザリマセヌカ、況ヤ情ノ上カラ言ヘバ捕ヘラレテ居ルモノト捕ヘラレテ居ナイモノト、苦痛ノ度合、國家刑罰權ノ及ビタル關係等ノ調和ヲ考ヘマシタナラバ、慥カニ三十年ノ有期刑ヲ取ルト云フ事柄ハ理義ニ適フノデアル、私ハ之ヲ以テ代フベキ其刑ト信スルノデアル、併ナガラ期刑ナド云フ刑ガ、其間ニ躊躇テ居ルカラ、之ヲ以テ代ヘント主張スルモノデナイ、無期刑ハ死刑ヨリモ惡刑ナリト主張スルモノデアリマスカラ、二十年ノ有期刑ヲ以テ死刑ニ代ヘンコトヲ唱道スルモノデアリマス、死刑廢止ノ利害得失ハ業ニ研究シ盡サレテ、餘ストコロハアリマセヌ、併ナガラ私ハ今日マテ死刑存置ノ適當ナル理由ト云フモノヲ拜聴致シタコトガゴザイマセヌ、外國ノ法制ヲ見マシテモ、今日死刑ト云フモノ、存在セラレテ居ル國ハ、誠ニ僅カナモノデゴザリマス、殆ド世界ノ全體ニ涉リテ死刑ト云フモノハ廢止ニ歸シテ居ルト云フ事柄ガ直チニ斷言ガ出來ルノデアル、大ナル國デ例ヘバ英國ノ如キ存置ハシテアルガ、近キ二十年來事實上之ヲ決行シナイノデアル、白耳義亦然リデ佛蘭西ハ昨年内閣閣議デ之ヲ廢スルコトニ決定シ、多分本年ノ議會ニハ法案ガ出ルデラウト聞イテ居ル、餘ストコロハ獨逸デアルガ、獨逸ニ於テハ死刑廢止案ハ成立ナカッタケレドモ、其議會ノ經過ヲ見マセバ、如何ニ獨逸全體ノ刑制革新ノ機運ガ死刑廢止ヲ希望シテ居ルカト云フコトノ一斑ヲ知ルニ足ルノデゴザイマス、御承知ノ如ク刑法草案ガ聯邦議會ニ附セラル、ニ當リテ、鐵血宰相「ビスマルク」ノ激烈ナル論争アリシニ拘ラス、議會ハ其二讀會ニ於テ八十二ニ對スル百八十ノ大多數ヲ以テ死刑ヲ廢止シタノデアル、而シテ三讀會ニ至リテ若シモ死刑議院ガ否定スルナラバ、刑法全部ヲ否定シテモ宜イ、或ハ議會ニ對スル政府ノ行動ハ一變スルカモ知レヌト云フ脅迫的ノ大演說ヲ「ビスマルク」ガシタ結果、百十九ニ對スル百二十七即チ僅ニ八票ノ差ヲ以テ死刑ハ存置スルコトニナッタ云フ經過デアル、二讀會ニ於テ殆ド大多數ヲ以テ廢止シタ、而シテ三讀會ニ至リテ、アラユル手段政略ヲ以テシテモ、僅カニ八票ノ少數ニ過ギナカッタ、之ニ依リ辛ウシテ刑法中ニ死刑ヲ存置スルコトニナッタノデアル、斯様ノ次第故所謂今日ノ文明邦國ノ刑法ノ上ニ於テ、死刑ハ法文ノ上ニ存スルモノ甚ダ少ナク、假令存スルモノモ事實ニ之ヲ行フモノナク、偶々獨逸ノ如キ之アリト雖モ議院ヲ通過シタモノサヘモ其經過今ノ如ク憐レナモノデアルト云フコトニ鑑ミタナラバ、此死刑サヘ削ツタナラバ——無期刑サヘ削ツタナラバ世界第一ノ刑法法典タルベキ本案ガ此二ツヲ殘スルメニ折角ノ壁ニ大瑕ヲ塗ルコトニナリハセヌカト憂フルノデアル、實ニ今度出サレタ刑法ハ、之ヲ現行法ニ比シテ、百段ノ勝レル所ガアル、舊草案ニ比シテ五十段ノ勝レル所ガアル、之ニ無期刑、死刑ヲ廢シタナラバ、私ハ世界中ノ模範刑法ニナルト確信スルノデアル、願クハ滿堂諸君ノ同意得マシテ、而シテ特ニ刑法學ニ於テ多年ノ蘊蓄アル機部君ノ同意ヲ得マシテ、即チ此修正案ハ滿場一致ヲ以テ通過スルコトヲ望ミマス、誠ニ刑罰ノ正理公道ノ要求スルコトヲ基礎トシ、社會ノ秩序ヲ保チ、犯人ノ悔善ヲ保スト云フコト以外ニハ、何等ノ目的ヲモ有サナイカラ、ドウカ死刑廢止ト云フ本員ノ修正說ニ同意ヲ表サレンコトヲ希望致シマス

○森田卓爾君 議長——意見ガアリマス（「反對カ」ト呼フ者アリ）反對デモ賛成デモ宜シイ、意見ガアリマス……

○議長（杉田定一君） 反對デモ賛成デモナイ、何ンデス

○森田卓爾君 私ノ意見ヲ述ベタイノデス

○議長（杉田定一君） ヲレハ通告ガアリマス——機部四郎君

（機部四郎君登壇）

○機部四郎君 我ハ死刑廢止ニ付キマシテハ全ク花井君ニ反對デゴザイマス、其反對ニ付キマシテ花井君ヨリ豫メ反對者ハ斯ウ云フ議論ヲ採ラデアラウ、ア、云フ議論ヲナスデアラウト、コチヲ言フベキコトコロヲ想像サレテ豫言サレマシタガ、私ハサウ云フ論ハ致サヌノデアリマス、（笑聲起ル）私ハ花井君ノ御議論トシテ、死刑ハ一體酷ナ刑デアルト言ハレ、元來刑法ハ國家ヲ代表シテ往クベキコトコロ、大切ノモノデ、何カ類リニ宗教ニモ負ケテハ往カヌ、道德ニモ負ケテハ往カヌト云フ論法デ、死刑廢止ヲ御議論シナリマシタガ私ノ考デハ既ニ刑法全般ガ據ナク存在スルノデ、若シ勇氣ヲ出シテ云フナラバ、刑法ナクシテ治マレバ、此位結構ノコトハナク、實ニ吾等ノ最モ希望スルコトデアアル、花井君ノ主張サル、歐羅巴諸國デモ國ニ刑法アルハ國ノ弱ミテ發表シテ居ルニ違ヒナイ、國ニ刑法ナクシテ今日社會ノ秩序ヲ保ツテ往ケルナラバ、コンナ面倒臭イモノヲ拵ヘ、監獄費トシテ國ガ年々六百萬圓宛モ費シ、澤山ノ裁判官ヲ置クコトモ要ラナケレバ無用ノ辯護士モ澤山必要ガナイノデアル（笑聲起ル）ケレドモ、ドウシテモ此刑法ヲ以テ一種ノ例外物ヲ拘束シテ往ク方法ヲ備ヘナケレバ、社會ノ秩序ヲ保テヌノデアル、故ニ獨リ死刑ノミナラズ、刑法全體ガ既ニ據ナイ法律デ、誠ニキタナイモノデアルト云フコトヲ私ハ豫定致シマス、サウシテ此死刑ハ一體之ヲ存スル理由ガナイト、斯ウ申サレマスガ、私ハ刑法ノ原則トシテ死刑程理ニ適シテ居ルモノハナイト云フ論デアアル（笑聲起ル）少シモ可笑クナイ次第ヲ說明致シマス（笑聲起ル）即チ花井君ノ言フ如ク元來刑法ハ復讐ニ起リテ居ルモノデ、是ハ理窟デハナイ、事實デアアル、何レノ國デモ私ノ復讐ガ公ノ復讐ニ變ジタノハ刑法家ヲ蹶テ論ズルマデモナイトコロデ、是ガ復讐ノ行ヘナイモノガアル、能ク議論ノ出ルコトデアルガ、即チ獨身ノ人ガ他人ノ妻ト姦淫シタトキニハ、是ハ實際ニ復讐ハ行ハレナイ（笑聲起ル）又貪乏ノ人ガ泥棒シタトキニ其金員ヲ費消シタ場合ハ、幾倍ノ罰金ヲ求メテモ實際之ヲ徵收スルコトガ出來ナイ、即チ復讐主義程立派ナ刑ハアリマセヌガ、對手ニ依リテ復讐ヲ仕遂ゲルコトガ出來ナイカラ、ソレデ種々難多ノ刑ト云フモノヲ設ケテ、之ニ社會ガ代リテ復讐シ來ツテ、ソレデ被害者ノ怒ヲ段々宥メテ往タト云フコトガ事實デアアルカラ、之ガ理窟ニ當ルカ當ラヌカト云フコトハ、種々難多ナ學者ガ出テ、種々ナ理窟ヲ付ケマスケレドモ、今日デモ人ヲ殺シタ者ガ世ノ中ヲ平氣デ往來シテ、之ヲ社會ガ縛リモ何モセズニ置イタナラバ、必ズ被害者ノ地位ニ在ルトコロノモノハ私ニ復讐ヲ行フデアラウト思フノデアアル、ソレデ日本ノ大和魂ガ少クナッタノデモ何デアリマセヌガ、即チ刑法ノ處分ト云フモノガ行届イテ、一加害者ガアレバ從テ刑ヲ科セラル、ト云フコトニナルカラ、復讐ト云フモノガ行ハレマセヌケレドモ、刑法ノ適用完キ得ズシテ、幸ニ刑ヲ免レルモノガ世ノ中ニ澤山蔓デ居レバ、何時デモ復讐ト云フモノガ顔ヲ出シテ來ルノデアリマス、デアリマスカラ花井君モ申サレル通り、復讐ハ至極惡イモノデアアル、惡イモノデアアルカラ、個人ノ復讐デ代リテ社會ガ復讐スルノデアアルカラ、ソレデ個人ノキタナイ復讐ハ去ツテ、國家ノ平安ヲ維持シテ往クノデアアルカラ、ソレガ即チ私ハ刑法ノ原理ヲラウト思フ、種々ナコトヲ言ツテ、社會ノ必要トカ、レヤ命令トカ、學者ガハツモ九ツモ言ツテ居ルガ、一ツモ威服スルモノハ無い、私ノ威服スル刑罰權ノ基礎ハ復讐ヨリ外ニ無い、所ガ復讐ノ事實上行ハレヌモノガアルカラ、仕方ガナイ、而シテ人ヲ殺シタルモノガ死ニ當ルト云フコトハ、少シモオカシクナ

イコトデアル、ツレカラモウ一ツハ死刑ニ付イテハ苦痛ヲ感シナイ、是ハ花井君が御經驗ガゴザイマスカ知リマセンケレドモ、死刑ニ處セラレテ見ナクテハ、死ヌマデドウ云フ苦痛ヲ感ズルカ、此事ニ付イテハ花井君ト雖モ御經驗ハアルマイト考ヘル、承ルトコロニ依レバ、ドノ位苦痛ノ中ニ暮ラシテモ、ドノ位重荷ヲ背負ハサレテモ、一命ヲ助カリタイ、此一命ヲ取ラハ、ト云フコトハ、此上モナキ苦シイモノデアルト云フ事柄ハ、重イ病人ニ承デ居リマス、ドウモ是ハ本當デアラウト考ヘル、ツレカラモウ一ツハ刑法ハ即チ懲戒主義デアアル、斯ウ云フ御議論デアアル、然ルニ死刑ニ向テハ懲戒ノ途ガナイ、如何ニモ御尤至極デゴザイマス、殺シテシマッタ以上ハ社會ニ用ノナイ人間デゴザイマスカラ、敢テ懲戒ノ必要モナケレハ、又死刑ニ處スル人ヲ懲戒シタコロガ益モゴザイマス、サリナガラ果シテ刑法ノ趣意ハ懲戒バカリデゴザイマセウカ、懲戒主義ト云フコトニナリマスナラバ、恐ラクハ國事犯トカ、或ハ總テ斯ウ云フ政治的ノ罪人ニ付イテハ、殆ド懲戒主義ト云フモノハ行ハレテ居タイ、又恐クハ今日社會ニ反抗スル人ガアッテ年ニ捕ハレテ居ッタ所ガ明日カラ坊主ノ説教ヲ聽イテ、以來ハ優シイ人ニナッテ、社會ニ反抗スルコトハ止メマセウト云フヤウナコトガ實際アレバ、刑ハ原則ニ於テ懲戒デアルトカ、勸善デアルトカ云フコトガアリマスケレドモ、結果ニ於テ其效ヲ奏スルコトハ出來ナイカラ、此節ハ社會自ラガ其弱點ヲ自首シテ居ルモノト言ハナケレバナリマセウ、何故ナレバ單期自由刑ノ如キハ牢ニ入レルト惡ルイ事ヲ教ハデ來ルカラ、執行猶豫シタ方ガ宜カラウト云フコトデ、殆ド懲戒主義ノ反對ヲ表シテ居ルモノデアアル、學理トシハ述ベキデアリマスケレドモ、決シテ刑法ハ懲戒ノ一手段ヲ以テ目的トシテハ居リマセウ、モウ一ツ御議論トシテ出シタノハ誤判ガアルト云フコトガ最終ノ點デ、誤判ガアッテ誤リガアッタ日ニハ、申譯ガ無イ次第デアアル、花井君ニ私ハ承リタイ、若シ他ノ刑ニ處セラレタ人間ガ、天然ノ壽ヲ以テ死シタ後ニ、尙其人間ガ罪人デナカッタト云フコトガ分ルト、氣ノ毒ナ譯デ、刑ニ處セラレタ場合ニ於テ此誤判ニ付イテハ社會ハ如何ナル申譯ヲスルコトガ出來マセウ、花井君ハ二十年間ニ斯ル誤判ガ必ズ現ル、モノト斷定セラレタ譯デアリマセウカ、私ノ考ニ致シマスレバ假令死刑ノ刑デ死シタモ、無期ノ刑デ死シタモ、五日デモ、十日デモ、今日社會ガ無罪ノ人間ヲ罰シタト云フナラバ、是ハ謝サナケレバナラス、謝スルノ途ハ其人間ノ活キテ居ルトキハ謝スルコトガ出來マセウ、併シ此人間ハ天壽デアラカラ知レナイ、天壽ヲ以テ終ヘタモノトシタコロガ、其誤判デアッタト云フコトハ死後ニ謝スルノ途ナシト云フコトハ、刑ノ死刑タルト否トヲ問フノ必要ハナイ、若又刑ヲ誤ッテハイカヌト云フ臆病風ニ誘ハレテ、刑法ヲ適用スルコトガ出來ナイト云フ思召ガアッタナラバ、犯罪人ヲ縱橫無盡ニ何所デモ歩カシテ、刑法ヲ止メナケレバナリナイ、是モ誤判デアアルマイカ、彼モ誤判デアアルマイカ、劍呑ナ話デアアルカ刑ヲ適用スルコトハヨシテ、彼ノスルコトヲ見ナケレバナラスト云フコトハ、刑法全廢論ヲ持出スガ相當デ、獨リ其一部分ノ死刑廢止ヲ持出スト云フコトハ、甚ダ其當ヲ誤ッテ居ルト考ヘマス、ツレカラ今一ツハ英國或ハ佛蘭西、若クハ白耳義ニ於テハ死刑ヲ執行セズニ、唯威嚇的ニ存在シテ置クト言ハレルノハ、御尤デアリマスケレドモ、私ノ承ッテ居ルトコロデハ、サウ云フコトハナイ、死刑ハ固ヨリ適用スル、サリナガラ適用スベキ罪人ガ出テ來ナイノデアアル、日本ニ於キマシテモ、此死刑ヲ存置セシメテ置イテ、死刑ニ處スベキ罪人ガ出ナケレバ、誠ニ結構ナコトデアリマセウカ、死刑ガ存スルカラトテ無理ニ人ノ首ヲ斬ラナケレバナラスト云フヤウナ學者モナケレバ、裁判官モチナイデアラカラ、即チ五十年モ七十年モ死刑ヲ存在シテ置イテ、實際適用スル必要ニ遭遇シナイノハ、私ノ最モ希望

スルトコロデアアル、ケレドモ奈何セシ一兩年以來死刑ヲ二ツモ三ツモ身體ガアルナラバ行ッテヤリタイト云フヤウナ罪人ガ、不幸ニシテ出テ來マスカラ、此間ニ到底死刑ヲ廢スルト云フコトニ至リマセウノミナラス、何時マデモ存シテ置イテ、社會ガ他ノ方法ニ依ッテ段々改良セラレテ死刑ヲ適用スルノ必要ノ無クナル方ニ十分心ヲ傾ケラレテ、サウシテ死刑ガ有ッテモ無キガ如ク、此世ノ中ガ治マデ往ケバ此位結構ナコトデアリマセウカ、此所一兩年ノ社會ノ有様ヲ見ルト、死刑ニ處スベキ罪人ノ續々出テ來ルノヲ誠ニ遺憾ニ思フノデアラカラ、此邊ノトコロデ大抵諸君ニ於テモ死刑ノ存置ニ賛成アッデ宜シカラウ、私ハ死刑ノ事柄ニ付イテ尙早論ハ唱ヘマセウ、元來理窟ニ於テ宜イト極ッタモノハ、今日モ宜ケレバ明日モ宜イ、明年モ宜イ、宜イト極ッタモノハ百年モ二百年モ存置セシメテ宜イト思フ、死刑ノ如キハ刑法ノ存在スル限り、一會社ニ於テ其存置ヲ要スル一ノ極刑デアルト信ジマスカラ、之ニ付イテ尙早論ハ決シテ唱ヘマセウ、又誤判ニ付イテノ御議論モゴザイマス、是ハ御尤至極デアリマスガ、其代リ日本ニ於キマシテハ先程御引用ニナリマシタ統計表デアリマス、即チ是ハ日本ニ於テ誤判ヲ生ゼシメナイ證據デアリマス、第一審ニ於テ間違ッタコトヲヤレバ、第二審ガアリ、第二審ガ間違ッタコトヲスレバ、大審院ニ於テ其適用宜シキヲ得セシムルト云フコトハ、實ニ死刑ニ付イテハ適用上注意ヲ加ヘテアルカラ、此點ニ付イテハ殆ド御安心デアラウ、併シ萬一アッタラドウスル萬が一ニアル誤判ヲ以テ刑法全體ヲ廢スル譯ニ往カヌ以上ニハ死刑ヲ存在シテ置カレバナラスト存ジマスカラ、速ニドウカ死刑存置ノ事ニ滿場ノ御贊同アランコトヲ望ミマス

〔拍手起ル〕

○小河源一君 議長——議長
○議長(杉田定一君) 何デス

○小河源一君 演説デス

〔討論終結ト呼フ者アリ〕贊成々々ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ動議ニ定規ノ贊成ガアリマスカ

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長(小河源一君) コンナ大問題ヲソッナニ早ク片附ケルト云フ法ハナイト呼フ

○議長(杉田定一君) 討論終結ニ定規ノ贊成ガアルト認メマス、討論終結ニ御同意

ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 大多數デアリマス、討論ハ終結シマシタ——採決ヲ致シマス、

即チ花井君ノ修正ハ、第九條ノ「死刑」ヲ「二字ヲ削リ、斯ウ云フ修正デアリマス、即チ死刑ヲ廢スルト云フデアリマス、此花井君ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、否決サレマシタ、原案ニ御異議ハアリマセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 原案ニ御異議ハナイト認メマス、原案ノ通りニ可決ニナリマシタ、第十條ヲ議題ト致シマス、花井君

〔花井卓藏君登壇〕

○花井卓藏君 諸君、次ニ論ジタイト思ヒマスノハ、無期刑廢止ニ關スル修正案ナン

デス、死刑廢止ノ説ガ既ニ敗レマシタル以上ハ、無期刑廢止ハ當然迎ヘラルベキ問題デ

アルト私ハ信シテ居ルノデアル、實ハ御承知ノ如ク少々病氣ヲヤッテ困ッテ居ルノデゴザイマシテ、登壇ヲ致シマスルト云フコトハ、本員自身モ實ハ今日ハ非常ニ苦シノデゴザイマスルガ、併ナガラ自分宿昔ノ議論デゴザイマスシ、多數ノ御同意ヲ得テ署名シテ議長ノ手許ニ出シテアル案デゴザイマスカラシテ、暫クノ間御静謐ヲ煩シ、且御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス、吾ミガ耳ニ慣レテ居ル言葉デハゴザイマスルケレドモ、所謂此終身刑デアルト云フ、無期刑デアルト云フ刑罰制度ト云フモノガ、何レノ時代カラ刑法ノ中ニ採用ヲセラレ、又如何ナル法理ノ要求ニ出デタモノデアルカト云フコトハ、實ニ未定デアルノデアリマス、私ノ考デハ、ソレノ定カナラヌダケ、ソレダケ此刑罰法ト云フモノガ沒意義デアラウト思フノデアリマス、死刑廢止ノ説ト、無期刑廢止ノ論ハ刑制革新ノ二ツノ大ナル眼目デゴザイマシテ、私ハ俱ニ與ニ刑法ノ中カラ除去リタイノデアル、然ルニ死刑廢止論ハ機運頗熟シテ居ルモノ、如ク見エマスレドモ、無期刑廢止論ニ至リマシテハ、耳ヲ傾ケル人ノ少ナイト云フコトハ、本員ノ認メテ而シテ且遺憾トスルトコロデアアルノデアリマス、併ナガラ無期刑ト云フモノト、死刑ト云フモノト此二ツノモノハ、決シテ異ナルトコロノ性質ノモノデハナイノデアル、寧ロ無期刑ハ死刑以上ノ極刑デアルト私ハ信シテ居ルノデアリマス、死刑ハ一轉瞬間ニ生命ヲ斷ツノ刑デゴザイマスルガ、無期刑ニ至リマシテハ、永久ノ間苦痛ヲ與ヘテ、然ル後ニ生命ヲ奪フトコロノ刑デアル、或人ノ所謂生命カラ墳墓デアル、生キナガラニ墓ニ埋メラル、所ノ殘酷極マルトコロノ刑罰デアアルノデアリマス、終生希望ノ光明ヲ有セズシテ、絶望ノ暗夜ニ彷徨ハシメルトコロノ、誠ニ歎ハシク且憐ムベキ犯人ニ對スル殘酷極マルトコロノ慘刑デアアルノデアリマス、私ヲシテ言ハシメタナラバ、死刑ノ宣告ヲ爲サズシテ、永久ニ死刑ノ執行ヲナスモノデアルト私ハ思フノデアル、憐ムベキ情狀アルガ故ニ、死一等ヲ減シテ無期刑ニ處スルト云フ裁判文ハ、憐ムベキ情狀アルガ故ニ死一等ヲ加ヘテ死以上ノ刑ニ處スルト云フ結果ヲ、確ニ監獄制度ノ上ニ於テ齎シテ居ルノデアリマス、私ノ監獄理事者ヨリ承ルトコロニ依レバ、無期刑ノ囚人ト云フモノホド取扱ヒ難イ者ハナイ、又監獄ノ迷惑ヲ感ズル者ハナイ、極メテ柔順ナル者ハ必ず精神病者ニナル、極メテ悍惡ナル者ハ自暴自棄ノ念ヲ生ジテ、遂ニ獄則ヲ破リ、他ノ囚人ヲ傷ケ、甚シキニ至テハ司獄ノ官吏ヲ屠ル者サヘアルノデアル、是ハ何ガ故デアアルカト云フタナラバ、終生牢獄ヲ出ルコトノ出來ナイト云フ絶望ノ極、此ノ如キ次第ニナルノデアル、或者ハ精神病者トナッテ自殺シ、或者ハ自暴自棄ノ念ヲ助長シテ、他ノ囚人ヲ傷ケ獄吏ニ抵抗スルト云フヤウナ有様ニナッテ居ル、吾ミ司獄官ノ眼カラ見タナラバ、死刑廢止モ急務デアラウケレドモ、願クハ死刑ヨリ寧ロ無期刑ト云フモノヲ廢止シテ、サウシテ多少ノ希望アル有期ノ刑ニ——年限ハ少々長クモ、有期ノ刑ニシテ彼等ヲシテ病人タラシメズ、彼等ヲシテ自暴自棄ノ念ヲ起サシメナイヤウニシタイモノデアル、ト云フコトノ論議ト云フモノハ、監獄當局者ガ屢々之ヲ語リ、且其機關ノ雜誌ニモ掲ゲテアルト云フヤウナ次第デアル、獨リ我邦ニ於テバカリデハナイ、監獄ノ理事者ト云フモノハ何レノ國ニ於テモ無期刑ノ不必要ト云フコトヲ論斷シテ、斯様ナ説明ヲ與ヘテ居リマス、デ私ハ此修正ニ付イテハ實驗上ノ説ト云フモノヲ重シタイノデアル、磯部君ノ論ゼラル、ガ如ク、學理學説ト云フモノヲ輕シズルモノデハナイケレドモ、磯部君ノ論ニ倣ヒ學理學説ハドウデモ宜イト云フ流儀デ論ジテ見タイ、無期刑廢止ニ付イテハ各種ノ學説ハゴザイマスルケレドモ、磯部式ニ一ツ學理學説ハドウデモ宜イ、實際カラ論斷フシテ見タイ、實際カラ論斷フシタナラバ、無期刑ヲ取扱フトコロノ行刑ノ官吏ガ——刑ヲ行フトコロノ官吏ガ實

ニ困ツタ刑罰デアアル、是ハ病人ヲ作ルカ、自殺者ヲ殖スカ、然ラザレバ惡漢ヲシテ益々自暴自棄ノ念ヲ助長セシムル以外ニハ何ノ得ルトコロガナイト云フ實際論ヲ出シテ居ル、是ハ吾ミデモ、磯部君デモ、否定スル譯ニイカヌ、現ニ監獄官ガ言フノダカラ——辯護士ハ監獄ニ往ツタコロガ、憲カラ挨拶スルダケデ、中ノコトハ知ラナイノダカラ、之ニ反對ハ出來ナイ譯デアリマス、刑法改正ノ委員會ニ於テ、現ニ小河監獄事務官ハ無期刑ノ廢止ト云フコトヲ絶叫スルトコロノ司獄者ト云フモノハ——當局者ト云フモノハ少ナカラザルコトヲ斷言セラレタノデゴザイマス、又實際左様ナ次第デアラウト思フ、又無期刑モ死刑ト同シヤウニ今日歐羅巴諸洲ニ於テ之ヲ執行スル、之ヲ宣告スルト云フ事柄ハ避ケテ居ル傾向ガアル、英吉利ノ如キニ至リマシテハ、現ニ近年無期刑ト云フモノヲ、裁判ノ上ニ宣告シタル事例ハナイノデアル、又葡萄牙ノ如キニ至テハ、無期刑ト云フモノヲ全然削ッテ居ル、死刑ト云フモノヲ廢止シテ死刑ニ代フルニ無期刑ヲ以テシタル伊太利ニ於テハ繋ガレルトコロノ無期ノ囚人甚ダ多クシテ、其狀態ヲ審カニスルト、極メテ細密ナルガ故ニ、無期刑ニ關スル研究ト云フモノハ到レリ盡セリデアル、其年表ニ依ッテ見マスルト云フト、百人ノ中六十七人マデハ精神病者デアアル、アトニ殘ルトコロノ三十幾人ト云フモノハ、所謂自暴自棄ノ部分ニ屬スルト云フコトデゴザイマス、ソレデアリマスカラシテ精神病者ニ對シテハ、刑罰責任ノ無能力者ヲ監獄ニ入レテ刑罰ヲ行フト同ジ結果ニナル又自暴自棄ノ連中ニ對シテハ如何ニ矯正シテ往カウト思ッデモ、本人既ニ絶望ヲ覺悟致シテ居ルノデアアルカラ、刑ノ利目ハアリマセヌ、サレバ從順ナル者ニ向ッデモ、悍惡ナル者ニ向ッデモ、始末ノ付カナイ制度ガ無期刑デアリマス、吾ミハ、嘗テ死刑廢止ヲ主張シタ者デアアルガ、ドウカ死刑ト云フモノヲ復活シテ無期刑ト云フモノヲ廢シテ貫ヒタイト云フ伊太利ノ司獄官ノ意見ヲ見タコトガアルガ、私ハ實際サウデアラウト思フ、日本ノ監獄官モ又之ヲ明言シ、現ニ無期刑ヲ扱ウテ居ル伊太利ノ司獄官モ斯様ニ明言シテ居ルノヲ見マシタナラバ、無期刑ト云フモノ、行刑上全ク無益ノ刑デアルト云フコトハ、所謂學理デモナイ、理論デモナイ、磯部君ノ所謂實際論ニ於テ動スコトノ出來ナイコトデアリマス、ドウモ氣分ガ惡ウゴザイマスカラ——極ク目錄ダケ言ッテ置キマセウ、ソレデアリマス、代ルベキモノハ何デアアルカト云ヘバハヤハリ二十年ノ有期自由刑ニシヤウト云フノガ私ノ論デス、二十年ノ有期刑ニシヤウト云フ私ノ論ハ、ヤハリ時効論カラ起ッテ居ル、所謂監獄外ニアル犯罪ノ逮捕ヲ免レタル犯人ハ二十年ノ時効ニ依ッテ遺忘ヲ國家ガ推測スルノデアアルカラ、獄中ニアル重キ囚人ニ對シテモ、ヤハリ二十年ノ歳月ニ依ッテ、罪ノ遺忘ヲ法律ハ推測シタラ宜カラウト思フノデス、斯様ニ申シマスルト或ハ事實論トシテノ反對ガ起ル、事實論ノ反對トハ何デアアルカト云フタナラバ、無期刑ダト云フデカラガ、十年過ギタラ假出獄ガ出來ルヤナイカ、是ニ依ッテノ調和ガ出來ル、是ハ有力ナル反對論デアリマスカラ、答ヘナケレバナラヌ、所ガ是ハ實際行刑情態ヲ知ラヌノデアル、無期ノ刑ニ處セラレテ十年ノ生命ヲ保ツタモノハ決シテナイサウデアアル、無期刑ノ宣告ヲ受ケテ監獄ニ於テ十年ノ生命ヲ保ツタモノハ極メテ稀デアアルサウデアリマス、其二十年ヲ保ツモノニ至ッテ、僅カニ十年間一人シカナイト云フコトデアリマス、併ナガラ有期刑十五年ト云フヤウナ宣告ヲ受ケタルモノハ、十五年立派ニ勤メタルケレドモ、無期刑ノ宣告ヲ受ケタルモノハ、十年ノ間活キテ居ッタ者ハ少ナイト云フコトデアアルサウデアリマス、殊ニ是ガ年ノ若イ幼年者ニ對シテハ實ニ驚クベク閑ムベキ狀況ヲ呈シテ居ルサウデアリマス、未成年ノ者ガ無期刑ノ言渡ヲ受ケル、此者ハサツ後ノ假出獄ヲ期シテ勤慎ニ勤慎ヲ加ヘ、改心ニ改

心ヲ加へ、假出獄ナル光明ヲ得シト心掛ケルカト云々ナラバ、決シテサウデアナイサウデス、必ズ精神病者トナルノデス、聞ク所ニ依レバ少年囚ノ無期刑ニ處セラレタルモノハ、甚シキニ至リテハ一週間ニシテ發狂人ニナル、ソレカラ一年ニシテ命ヲ落スト云フヤウナコトハ實例ノ上ニハ幾ラモ現ハレテ居ルト云フコトデアリマス、實ニ恐ルベキ結果ヲ來シテ居ルノデアリマス、是等ノ點カラ考ヘテ見マスレバ、假出獄ノ方法ガアルカラ是ニ依リテ調和ガ出來ルト云フ事柄ハ、所謂實際論トシテハ當ラヌ論ダウト私ハ考ヘルノデアアル、又實際論ヲ離レテ刑罰ノ主義カラ研究ヲ致シテ見マシテモ、犯人教化主義ノ上カラ見テモ、磯部君ノ申サレル懲戒主義デアリマス、或社會保護主義所謂保護刑主義或ハ犯罪防遏主義、是等ノ各主義ト云フモノヲ盡ク茲ニ引證シテ意見ヲ述ベタイノデゴザイマスガ——ドウモ何分ニモ苦シウゴザイマスカラ——此三ツノモノ、刑法ニ貫通スベキ主義ノ上カラ研究スレバ、結局無期刑ナルモノハ是等ノ主義ト相容ル、モノニアラス、兩立スベキモノニアラス、教化主義トシテモ相容レズ、保護主義トシテモ相容レズ、防遏主義トシテモ相容レザルモノデアアル、應報主義トシテハ、尙更ノゴトデアルト云フコトヲ申上ゲマシテ略シマス、實際ノ論ハ斯様デアアル、主義ノ上カラ申シテモ斯様デアアル、ソレデゴザイマスカラシテ私ハ死刑廢止ト云フコトニ付イテ、諸君ノ同情ヲ得ラレナカッタコトハ、如何ニモ残念デゴザイマスケレドモ、イツレ近キ將來ニ於テ修正案ヲ御迎ヘ下サル時期ガ來ルデゴザイマセウガ、今日ハ如何トモスルコトガ出來マセヌカラ、セメテ此實際家ノ語ルトコロニ耳ヲ籍サレテ、無期刑廢止ト云フ修正説ニハ御同意ヲ得タイと思フノデアアル、改正案ガ何故ニ無期刑ト云フモノヲ存シタカト云ヘバ、其理由ハ何ニモナイノデアアル、本員此點ニ於テ深ク切ニ諸君ニ訴ヘナケレバナラスノデアアル、本員ハ第十六議會ニ於テ無期刑ヲ廢止セザル所以ニ於テ、政府當局ニ質問シタコトガアル、又嘗テ吾々ノ法庭ニ於テ無期刑廢止ヲ論ジテ、無期刑ノ一等ヲ減ゼンコトヲ要求シタコトガアル、法律取調委員會ノ組織成リ、之ヲ委員ニ受ケマシテ無期刑廢止ヲ主張シタ、併ナガラ彼モ是モ全然無期刑廢止ヲ以テ如何ニモ突飛ナル論デアアル、破天荒ノ論デアアルガ如クニ迎ヘラレタルハ、甚ダ遺憾ノ至リニ堪ヘヌ、茲ニ於テ本員ハ無期刑ト云フ主張ニ幾許ノ同意ヲ得ラルベキヤト云フコトヲ檢センガタメニ自分ノ意見ヲ述ベ、尙事實ヲモ話シテ多數ノ贊同ヲ得テ議長ノ手許ニ修正案ヲ出シテ置イタデアリマス、即チ昔日吾々ノ論ヲ迎ヘザリシ人ハアルケレドモ、信賴スベキ同僚諸君ニ於テ無期刑論ガドレ程ノ機運ニ於テ迎ヘラレタカト云フコトヲ證據立テバ足リルト云フコトヲ出シタノデアアル、斯クシテ今日御採用ニナルコトハ無論デゴザイマセウガ、不幸ニシテ御採用ニナラヌデモ、他日刑制改革ノ機運ハ無期刑廢止ヲ死刑廢止ト同時ニ御迎ヘ下サルベキ先容ヲ造ランガタメニ、此主張ヲ致シテ置クノデアリマス、假出獄ナド、云フヤウナ制度ヲ以テ調和シヤウナド、云フ論者ハ、全ク理窟ヲ知ラヌノデ、假出獄ノ制度ハ刑罰觀念トハ全ク違フテ居ル、自然的ニアラスシテ人造的デアアル、人工的ハ細工のデ理論ニハナイノデアリマス、是等假出獄ノ規定ハ——十年待シタナラバ其希望ノ光明ガアルトシタコロガ、實際ハ十年待タナイ中ニ死シテシマフト云フコトハ御了承ヲ請ハナケレバナラスノデアリマス、委員會ニ於テモ申シテ置キマシタルガ如ク、人ノ生命ニハ長イノモアレバ短イノモアル、縱令無期刑ヲ宣告サレタコロデ、一日ニシテ死スル者アリ二十年ニシテ死セザル者アリ、同一ノ刑罰デアリナガラ、斯ノ如キ差違アル刑罰ハ其刑デハゴザイマセヌ、又無期即チ終身ト云フコトハ一體不可分ノモノデ、程度ヲ定ムルコトノ出來ナイモノデアアル、而シテ罪狀ニ應ジ能ハザルトコロノ缺點ヲ貽シテ居ルトコ

ロノ刑デアアル、斯ノ如キ刑モ決シテ其刑ニアラスト存シマス、之ヲ要スルニ死刑既ニ惡刑ナリ、而シテ無期刑ハ死刑以上ノ惡刑ナリ、死刑ハ廢止シナケレバナラス、而シテ無期刑ハ尙廢止シナケレバナラスノデアアル、無期刑ヲ以テ死刑ト有期刑トノ間ニ位セルトコロノ一ノ階級ノ刑ノ如ク論ズル者ハ、無期刑ノ性質ト實際トヲ知ラザルモノデアアル、刑罰ノ主義ト目的トヲ沒却スルモノデアアル、無期刑廢止ノ論ハ刑罰主義——即チ犯人教化主義、乃チ懲治主義、犯罪防遏主義、或ハ社會保護主義、或ハ應報主義、其他ノ主義カラ立論シタナラバ、極メテ趣味アル問題デアラ、且御同情ノ多クヲ博シ得ラルベキモノト信シマスケレドモ、如何ニモ頭痛アラウゴザイマスカラ、ソレハ省クトシテ、殊ニ此主義ニ合ハナイト云フコトヲ吳レ——モ申シテ置キマス、諸君、暗黒ト不自由、絶望ト勞働ト云ヘルガ如キ、有ラユル器械ヲ以テ徐々ニ人間ヲ締殺スト云フコトハ、實ニ無期刑デアアル、是ガ死刑以上ノ惡刑デアナイト云フコトハ如何ニシテ言ヘルノデアアル、一思ヒニ死ヌヨリモ長ク苦痛ヲ忍バンケレバナラスモノハ無期刑デアアル、是ガ何セ其刑デアアル、是位惡刑ト云フモノハナイト思フノデアリマス、私ハヤハリ死刑廢止ト同ジク無期刑廢止ヲ主張致スモノデアリマス、死刑ノ破レル唯今ニ於テハ致方ガゴザイマセヌカラシテ、無期刑廢止ト云フ事柄ニハ御贊成ヲ請ハナケレバナラス、而シテ最後ニ一言致シテ置キタイノハ死刑ト同ジク無期刑廢止ト云フコトハ、刑法改正特別委員會ニ於キマシテ大多數ヲ以テ可決セラレタルトコロノモノデアルト云フコトヲ申シテ置キマス、比較的大多數ヲ以テ可決セラレタルトコロノモノデアアル、私ハ此所デ一言致シテ置キタイノハ、敢テ體面論ヲ致スノデハゴザイマセヌガ、免ニ死刑廢止ト云フ請願ハ、請願委員會ニ於テ大多數ヲ以テ決定セラレ、本會ニ於テハ否決セラレ、無期刑廢止ト云フコトハ特別委員會ニ於テ大多數ヲ以テ決定セラレ、本會ニ於テハ之ヲ否決セラレ、免ニ角探否如何ニ拘ラズ、兩方論據ヲ存シテ居ル、輕々ニシテ看過スベカラザル問題デアルト云フコトヲ議院ガ認メテ居ル好キ證據トシテ、實ハ私ハ喜ブノデアアル、免ニ角此改正案ニ於テ斯ル問題ニ對シテ攻究ノ料ニ供セラレタト云フ事柄ハ案ノ採否如何ニ拘ラズ、私ハ喜ブモノデアアル、刑法ノタメニ一言スベキ必要ガアリマスカラ申上ゲルノデアアル、修正説ガ其イ案デゴザイマスカラ、磯部君ヲ始メ御贊成ヲ願ヒタイと思ヒマス

(磯部四郎君登壇)

○磯部四郎君 甚ダ花井君ニ屢々反對スルヤウデアリマスガ、勢ヒ已ムヲ得マセヌ、花井君ハ頻リニ此無期刑ノ懲役ニ這入ッテ居ル人間ノ中デ悲慘ノ方バカリ御調ベニナッテ或ハ氣違ニナルトカ、病氣ニナルトカ云フコトヲ以テ無期刑ヲ廢サナケレバナラスト云フ御議論ガ出テ居リマス、私ノ見マスノデハ、私ハ又極ク樂天主義ノ方バカリノ調ベカ知リマセヌガ、即チ此十四五年前ニ大赦ニ遭ッテ出テ來タ無期刑ニ遭ッタ人間ニ、一人知ッテ居ルモノガアリマスガ、是ハ別ニ名前ヲ申上ゲル必要モナイガ、此者ノ言フニハ、懲役ニ往クナラバ無期ホド結構ナ所ハナイト申シタ、ト申シマスノハ其處ヲ以テ自分ノ婆婆ト心得テ居ルカラ、却テ婆婆ニ居テググ——シテ居ルヤウノ方ガ心配ダ、食物ハ御上カラ下サル、著物モ御上カラ下サル著テ食フニ働ク必要ガナイ、サウシテ天然ノ壽ヲ保ツコトガ出來ルカラ、誠ニ無期刑程ノンキナモノガナイト云フ現ニ人間ガアルノデアアル、ソレハ花井君モ其人間ハヤハリ御承知デアラウカト私ハ考ヘテ居ル、併ナガラ今私ノ調ベタノモ極端ノ一例ヲ舉ゲテ御話デアリマス、又花井君ノ氣違ニナル、病氣ニナルト云フ方モ、ヤハリ無期刑ニ處セラレタ中デ、即チ一方ノ極端ナ悲慘ナ例ヲ御調ニナッタコトデアリマスカラ、

此御引用ニナリマシタ花井君ノ例モ、亦私ノ極ク樂天主義デ、誠ニ斯ウ云フ迄變ニ生レテ來レバ此位ノシキナモノガナイト思フ居ルノモ、一ツノ例デゴザイマスカラ、之ヲ以テ無期刑ノ善イ惡イヲ論斷シマスルトコロノ標準ニハ相成ルマイカト私ハ考ヘルノデアリマス、唯花井君ノ死刑廢止論ニハ私ハ大ニ反對ヲ致シマシタケレドモ、併ナガラ世ノ中ノ人ハ間違ッタコトガ多イカラ、或ハ是ガ十二年カ十五年經テマシタナラバ、死刑廢止ト云フ時期ガ來ルカモ知レマセヌ、然ルニ若シ今日ニ於テ其無期刑ト云フモノヲ廢止シテ置カレト、花井君ノ始メニ論シラレマシタ死刑廢止ト云フ時期ヲ餘程遅クスルモノデアラウト思フノデス(「ウウウ」)諸リ死刑ガナクナデモ無期刑ガアルカラ、大ニ都合ガ宜イト云フ時期ガ來テ、ヒョウト死刑ヲ廢サレルカモ知ラナイ、ケレドモ無期刑ヲ止メテシマッテ此處デ以テ二十年ト云フ懲役ニナリマスルト、是ハ死刑ヲ廢シヤウト云フ時期ヲ段々後ラスヤウナ結果ヲ來スデラウト考ヘマスカラ、花井君ニ於テモ無期刑廢止ト云フコトノ議論ハ御止メニナリマシタ方ガ宜イデアラウ、サウスレバ始メノ目的ヲ達スル時期ガアラウカト、是ハ明友ノ情誼上チヨット申上ゲテ置クノデアリマス、ソレカラ類リニ無期刑ト云フモノハ論理ニ合ハナイモノデアルトカ、苦痛ガ盛ンデアルト云フコトデゴザイマスガ、是ハ無期有期ニ拘ハラズ、懲役ニ往クノハ料理屋ニ往クノデハナシ、湯治場ニ往クノデハゴザイマセヌカラ、幾分カ苦痛ガアルコトハ是ハ正當ナコトデアッテ、又苦痛シテ異レナクテハ刑ノ效果ヲ奏スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、是モ往カヌ、又反對論者ハ十五年ノ假出獄ガアルカラ、ソナニ悲マナクテモ宜イデナイカト言ハレマシタガ、私ハソレハ別段引用致シマセヌ、十五年ノ假出獄ハ是ハ約束デハナイ、即チ無期ノ人間ガ本則デアル、併ナガラ其者ガ行狀ガ良クテ、監獄ノ御役人様方モ諸リ之ヲ出シテ宜カラウト云フ時分ニ、行政處分デ以テ出スノデアリマスカラ、始メカラノ約束デゴザイマセヌ、サリナカラ十五年テ行狀ヲ良クシテ居ッタナラバ、又天日ヲ見ルコトガ出來ルト云フコトダケハ知ラデ居ルノデアリマスカラ、ソレモ是モ考ヘズシテ這入ッタ始メノ日カラ、終身此中デ活キナケレバナラヌト云ッテ、無暗ニドウモ心配シテ氣ガ狂シテ來ルヤウナ者ハ是ハドウモ迷惑ニ居ッテモサウ云フ人ハ發狂スルカモ知ラヌノデ、強チ懲役場ガ根據ニナッテ居ル次第デモナカラウト考ヘマスノデ、私ハ無期刑ト云フモノハ死刑無期刑、有期刑ト段々來テ居ルノデアリマスカラ、無期刑ト云フモノハ必ズ置カナケレバナラヌト云フデケノ根據ハ何モナイ、是ハ人造ダト云フコトヲ申サレマシタガ、私ハ一箇月以上十年ノ懲役モ天然ノモノトハ思ハナイ、又拘留料ト云フモノモ、天然ノモノトハ思ハナイ、即チ時ノ立法官ノ見計ヒテ出來タノデアリマスカラ、諸リ刑ト云フモノハ絶對ニイゲヌト云フナラバ免モ角、今日ニ於キマシテハ無期刑ト云フモノモ尙存在シテ置ク必要ガアラウ、殊ニ日本ニ於テハ其必要ガアラウト考ヘマスカラ、長ク議論ヲ致シテ居デモ最早別段ニ論ズベキ點モナカラウト思ヒマスカラ、即チ無期刑モ委員會ノ儘存置セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 宮古啓三郎君——宮古啓三郎君

(「討論終結討論終結」ト呼フ者多シ)

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ聲ガ段々アリマスガ、定規ノ賛成ガアリマスガ

(「定規ノ賛成ハ無論ナリ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 定規ノ賛成ガアルト認メマス、討論終結ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○花井卓藏君 異議ガアリマス——異議ガアリマス

○議長(杉田定一君) 最早宣告シテシマヒマシタ——再ビ宮古君ヲ呼ビマシタガ答ヘラレマセヌカラ、仕方ガアリマセヌ

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、花井卓藏君ノ修正第十條第一項但書ヲ左ノ如ク改ムト云フノデ……

○花井卓藏君 ソレハ諸リ四ツ條文ニ變更ヲ來スノデアリマスカラ、御採決ニ具合ガ惡ルウゴザイマスカラ、無期刑ヲ廢スト云フ意味ニ於テ御採決ヲ願ヒタイ

○議長(杉田定一君) ソレデハ無期刑ヲ廢止スルト云フコトニ付イテ採決ヲ致シマス、花井君ノ無期刑ヲ廢スルト云フ修正ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、否決セラレマシタ、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、サウシマス第十一條、第十二條、第十三條、第十四條、是ハ無期刑ニ關係スルコトデアラウト思フ、ソレデ……

○花井卓藏君 無期刑廢止ノ論ガ破レマシタ以上ハ、十一條、十二條、第十三條、十四條ハ從テ原案ニナル譯デアリマスカラ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○議長(杉田定一君) ソレデハ十一條、十二條、十三條、十四條ヲ議題ト致シマス——原案ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、原案ニ決シマシタ、ソレカラ十五條ヨリ二十條マデハ修正ガアリマセヌ、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、二十一條ヲ議題ト致シマス、小川平吉君

(小川平吉君登壇)

○小川平吉君 死刑廢止論ノ如ク興味ノアル議論デゴザイマセヌカラ、極メテ簡單ニ其要領ヲ演說致シマス、私ノ意見ハ此第二十一條ヲ彼ノ復選セラレマシタル十八名ノ特別委員會ノ意見ノ通りニ修正ヲシヤウト云フノデアリマス、ソレハ此未項デアリマスルトコロノ「ルコトヲ得」ト云フ五字ヲ削リマシテ「未決勾留ノ日數ハ其全部又ハ一部ヲ本刑ニ算入」ト斯様ニ改メルノデアリマス、即チ法律デハ必ズ此未決勾留ノ日數ト云フモノヲ本刑ニ算入ヲ致シテ、差引スベキモノデアナイト、斯様ニ規定シテ置キタイト云フ考ナノデアリマス、之ヲ反對ノ方ニ考ヘテ申シマスルト、成程未決勾留ノ日數ト云フモノハ國家ガ自分ノ都合上犯罪ノ湮滅罪證ノ湮滅ヲ謀ル、ト、若クハ逃走スルコトヲ防グタメニ、罪ノアルカナイカ分ラヌモノヲ勾留シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ガ愈々本刑ヲ科スル時分ニ、未決勾留ノ日數ヲ差引スベキコトハ當リ前デアリマスルケレドモ、併ナガラ此差引日數ノ長短ニ付イテハ、被告人ノ事情ニ依ッテ未決勾留日數ノ全部ヲ差引クガ宜シイト云フ論モゴザイマセウシ、或ハ又全部ヲ差引スル必要ハナイ、其一部分サヘモ差

引イテヤレ宜シト云フ事情モゴザイマセウ、故ニ本刑ニ算入スルコトヲ得ルト云フ自由ヲ裁判官ニ與ヘテ置キタト云フノガ、即チ委員會ノ決議ノ趣意デゴザイマセウガ、是ハ餘程間違テ居ルノデゴザイマス、何トナレバ此被告ノ情狀ニ依リマシテ、或ハ逃走ヲ企テルト云フヤウナ被告ノモアリマセウシ、或ハ又至極短キ未決勾留日數ニ於テ裁判ノ終結スルノモゴザイマセウシ、或ハ又是ニ反シテ非常ニ長期ニ互ル未決勾留ノ間在監シテ居ルモノモゴザイマセウカラ、是等ノ被告ノ人ニ對シテ長短差引ヲスルト云フ斟酌ヲ、裁判官ニ一任スルト云フコトハ、ソレハ誠ニ適當ナコトデハゴザイマセウケレドモ、ヤハリ此法文ノ中ニアリマスルコトコノ未決勾留ノ日數ハ、其全部又ハ一部ト此全部ヲ差引カ、一部ヲ差引カト云フコトデハ、裁判官ノ自由ニ委シテアルノデゴザイマセウカラシテ、裁判官ノ考デハ、一日ノ差引ヲシテモ宜シイ、或ハ十日分ヲ差引イテモ宜シイ、若クハ一年ノ未決勾留ノ日數ヲ差引イテモ宜シイト云フ其長短ノ度合ト云フモノハ、私ノ修正ノ如ク致シマシテモ、十分ニ裁判官ニ於テ斟酌ヲ致ストコロノ自由ガ與ヘテアルノデゴザイマセウカラシテ、刑法ノ主義ト致シマシテハ假令一日タリトモ、國家ガ自分ノ勝手ニ捕ヘタ未決勾留ノ日數ト云フモノハ、必ズ差引カシムルト云フコトニ極メテ置クコトガ、最モ筋道ニ適シタルモノト考ヘルノデゴザイマス、此長ク引カ、短ク引カト云フコトハ、裁判官ニ任セルト云フコトニシテ、此差引ト云フコトニ付テハ裁判官ニ差引ク差引カスト云フ自由ヲ與ヘルト云フコトハ、法ノ原則ニ違フテ居ルノデゴザイマセウカラ、法律ハ假令一日デモ差引クベキモノデアルトシテ、其長短デケレバ裁判官ニ任セルノガ相當デアルト云フ復選サレマシテ特別委員會ノ決議ト云フモノハ最モ至當ナモノデゴザイマセウカラシテ、ドウカ満場諸君モ此修正ニ賛成アラント望ミマス

○立川雲平君 反對ノ演說ヲ致シマス

(登壇々々ト呼フ者アリ)

(立川雲平君登壇)

○立川雲平君 諸君、刑法ノ如キモノハ私が演說ヲ致シマスモ、先輩ノ機部君ガ十分ニナサル管デゴザイマシタケレドモ、餘リ重大ナ問題デゴザイマセウカラ、此點ニ付キマシテハ私ハ原案ヲ賛成致シマスル趣意ヲ簡單ニ申上ゲヤト思ヒマス、私ハ刑法調査委員ノ中ノ又特別委員ノ一人ニ選マレマシタノデゴザイマスルガ、其時ヨリ私ハヤハリ此原案ヲ賛成シテ居ルノデゴザイマス、唯今小川君ハ勾留ノ日數ヲ刑期ノ中ニ算入スル法律デ極メテ置キタト云フ原案ハ裁判官ニシテ任サウ、此處ノ違デゴザイマス、小川君ノ愛フル點モ——小川君ノ云ハル、通リノ修正ニ致シマシテモ、若シモ裁判官ガ不都合デゴザイマシテ、其方法ノ趣旨ヲ能ク玩味致シマセウカラバドウデモ出來ルンデゴザイマス、或ハ算入スト書イテハアツテモ一日ヲ算入シテモ算入デゴザイマス、又一箇年モ未決勾留ヲシタ者ヲ僅カニ一日ヲ算入シテモ、法律デ算入ストアルカラ算入シタモノト云譯ガ付ク、若シ又裁判官ガ此立法ノ趣旨ヲ能ク解釋スレバ算入スルコトヲ得ト云フ、所謂裁判官ノ酌量ニ任セテ置イテモ決シテ惡イ方ニシナイカラ、一部若クハ全部其分量ニ於テハ自由ニ算入スルコトガ出來ルノデアリマス、之ヲ法律ヲ極メテ必ズ算入スト致シマスル、私ハ茲ニ甚ダ不都合ナ點ヲ生ズルコトガアルカト思フノデゴザイマス、ソレハ何デアルカト云ヘバ、初メ罪人ヲ捕ヘテ——今マデノ修正論者ハ多ク罪人ノ保護人ノ方ノ側ニ立ッテ、罪人ノ肩ヲ持テ立論シテ居リマスルカラ、私ハ罪人ノ肩ヲ持ツ者デナイ、所謂刑法ヲ制定スル立法者トシテ考テ置イテ見タイ、罪人ガ或ル場合ニ未決勾留ニナリ、豫審判事若ク

ハ檢察ガ之ヲ檢舉シ、若クハ審問ヲスルノニ、此刑期ガドレ程アラウト云フヤウナコトヲ心配シナケレバナラヌト云フヤウニナル、若シ勾留ノ日數ハ非常ニ長カッタガ、公判ノ裁判ニ於テ、ソレヨリ短イ刑ニシナケレバナラヌト云フナラバ、甚ダ不都合ナ結果ヲ來ス、四箇月勾留シテ置イタモノヲ、公判判事ガ一箇月ノ刑期ヲ申付ケルガ至當ト思ウデモ、是非算入シナケレバナラヌト云フコトニナルト、差引シテ不都合ナル數ヲ未決勾留ニ置イタト云フ心配ガゴザイマシタナラバ、裁判官ハ己レノ良心ニ無理ト知リツ、モ、尙多クノ尙長期ノ刑ヲ申付ケナケレバナラヌヤウナ弊ニ陷ル、又一面ニ檢察者若クハ豫審判事ガ證據ヲ蒐集スルトカ、證人ヲ調べルト云フ場合ニ當ツテ、尙將來ノ公判ニ於ケル刑期ガドウデアラウト云フコトノ心配モシナケレバナラヌノデ、職務ノ周到ヲ缺クコトモアル、又檢察ガ檢舉スル上ニ幾テ手續ヲ缺タコトモゴザイマセウ、斯様ナ心配ガゴザイマス、一體今度ノ刑法、裁判官ヲ信任スルコトガ、舊刑法ヨリハ餘程重クナッタノデゴザイマス、即チ刑期ノ如キモ十年以下、或ハ三年以上、裁判官ニ信任ヲ置クヤウニ改正ヲシタノデゴザイマスカラ、此點ニ至ッテ一部又ハ全部ヲ算入スト法律ニ書ケバ——既ニ一部又ハ全部ヲ任セヌナラバ、尙進ンデ算入スルコトヲ得トスルノガ至當デアラウト思フ、全部又ハ一部ヲ任セル、法律主義ニ是非共シナケレバナラヌト極メルヨリハ、スルコトヲ得トスル方ガ私ハ穩當ト信ジマスカラ、原案ヲ賛成致シマス

(討論終結ト呼フ者アリ)

○望月長夫君 私ハ小川君ノ修正說ガ宜イト思ヒマスカラ、之ニ賛成シマス

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、小川君ノ修正ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デゴザイマス、否決ニナリマシタ——原案ニ御異議ハアリマセウカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、原案ニ決シマス

○磯部四郎君 第三章ヨリ七章マデ一括シテ議題ニ付セラレンコトヲ希望致シマス

(花井卓藏君「ソレハイカメチヤナイカ、修正ガアル」ト呼フ)

○議長(杉田定一君) 二十五條ニ修正ガアリマス、修正ノアル所マデヤリマス、第三章ハ全部修正ガアリマセウ、第三章全部ヲ議題ト致シマス

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 第三章全部原案ニ御異議ハアリマセウカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——第四章ノ二十五條ヲ議題ト致シマス、加瀬禮逸君

(加瀬禮逸君登壇)

○加瀬禮逸君 諸君、私ヨリ致シマシテ二十五條ニ修正案ヲ提出シテゴザイマスルガ故ニ、極ク簡單ニ申上ゲタウゴザイマス、最早時間モ過リマシテ、御退屈デアラウト存ジマスカラ、私ハ成ルタケ簡單ニ其要領ノミヲ申上ゲテ、サウシテ此壇ヲ引下ガラウト存ジマス、私ノ修正ハ二十五條ノ左ニ記載シタル者ト云フ下ニ「罰金又ハ」ト云フ四字ヲ加ヘマシテ、サウシテ其趣旨ハ刑ノ執行猶豫ノ思典ハ罰金刑ニマデ及ボシタイ斯ウ云フ

趣旨ニ相ナリマス、勿論此執行猶豫ノ制度ニ付キマシテハ、無論各國ノ法制モ其探ヲ一ニシテ居ラヌコトモ承知シテ居リマス、此執行猶豫ノ制度ノ良否ニ付キマシテモ、幾多學者間ニ於テ論争ヲ重ネラレタコトハ私モ存シテ居リマス、併ナガラ我刑法ハ——免モ角モ現行ノ刑法ニ於テ刑ノ執行猶豫ノ制度ト云フモノヲ置イテ居リマセヌノデ、第二十議會ト存シマスガ、其時ニ於キマシテ單行法律ヲ出シマシテ、刑ノ執行猶豫ノ制度ハ之ハ宜シト云フコトナリマシテ、當院ニ提出サレマシタ、兩院ヲ通過シテ既ニ法律ト成リ、二年ノ間之ガ實行ヲサレタノデ、サウシテ其結果モ甚ダ良好ヲ得マシテ、サウシテ此執行猶豫ノ制度ニ付イテ可否ヲ論争シマスル方ノ疑問ニ向テ、先ヅ執行猶豫ノ制度ハ宜シキモノデアルト云フコトノ決定ヲ下スベキ時期ニ到著シマシタノハ、私ハ當時ノ司法大臣特ニ此制度ヲ施カレタコトノ一段ニ至ッテ厚ク感謝ヲ表スル者デアリマス、斯ノ如ク其執行猶豫ノ制度ヲ施キマシタ結果ガ、甚ダ宜シクシテ、却テ其刑ノ本旨ノ目的、所謂犯罪ノ防禦トカ若クハ犯人ヲシテ遷善改過ヲ促サシムル主義ニ於テ良カッタコトヲ認メラレテ、サウシテ更ニ今度提出サレタコトノ刑法案ニ於キマシテ今ノ現行ノ執行猶豫制度ヨリ、範圍ヲ擴メルト云フコトヲ私ハ甚ダ感謝スルデアル、即チ現行ノ法典ニ據リマスレバ、一年以下ノ禁錮ト云フコトニ限定サレタアリマスノヲ、二年ニ押進メテ、サウシテ監視ト云フモノモ廢シタ結果、廣ク或種ノ犯罪マデモ此恩典ヲ得セシムルト云フコトナリマスルシ、進シテハ又第二十七條ニ於キマシテ、猶豫期間中別段犯罪等ヲ犯シマセヌ、即チ惡ルイコトニ致シマセヌデ、猶豫ノ言渡ト云フモノヲ取消サレマセヌ曉ニハ、刑ノ言渡モ其效力ヲ失フトマデ、成ルベク人ヲシテ無疵ノ人間タラシメタイト云フ思想ヲ、法典ノ上ニ現ハシ來リマシタル以上ハ、私ハヤハリ罰金ニマデ擴メテ、此執行猶豫ノ制度ト云フモノヲ、廣ク刑罰本來ノ目的ニ副ハシメタ方ガ宜カラウト思フ、故ニ私ハ此罰金ニ及ボス價值ニ付キマシテハ、唯今申述ベマシタル次第ニ依リマシテ、即チ此刑本來ノ目的及執行猶豫ノ制度ヲ施シタル主義ニ合致セシムルニハ、單リ體刑ノミニ限ッテ置クハ甚ダ宜シクナイ、是ガ即チ第一ノ理由デゴザイマス、或ハ此時ニ於キマシテ、斯ウ云フコトヲ仰セラレル方ガアルカモ知レマセヌ、體刑ニ於テノ執行猶豫ヲ認ムルト云フコトハ、各國ノ法制ガサウナッテ居ル、而シテ此執行猶豫ノ制度ト云フモノハ、獄ニ投ジテ刑罰ヲ執行スレバ、監獄内ニ於ケルコトノ惡ルイ慣習ニ染マル、ソレガタメニ再ビ罪ヲ犯スト云フ危險ガ却テアリハセヌカ、即チ再犯ヲ防遏シヤウト云フ主義カラ、之ヲ認メラレタアルノデアルカラシテ監獄ニ投ゼザル罰金刑ニ及ボス理由ハナリ、斯ウ云フ議論ガアルカモ知レマセヌ併ナガラ是モヤハリ執行猶豫ノ制度ガ再犯防遏ト云フ上カラ、認メラレタ來タモノナラバ、罰金ニ於テノ再犯モ望ムベカラザルコトモ、國家ノ立場トシテ同ジコトナケレバナラヌト思フ、體刑ニ於テノ再犯ハ之ヲ防クベシ、罰金ニ於テノ再犯ハ之ヲ迎フベシト云フ理由ハナリノデゴザイマスカラシテ、等シク再犯防遏主義カラ、執行猶豫ノ制度ヲ施カレタ以上ハ、罰金ニマデ及ボスガ當然デアラウト思フ、ソレカラ致シマシテ、今若シ此改正案ガ通過致シマスルモノト致シマスルトキハ、此改正案ノ規定ソレ自身ニ於キマシテ、甚シキ不權衡ヲ來スト云フコトヲ憂フルデアル、ソレハ御承知デモゴザイマセウガ今般ノ刑法ニ於キマシテハ機擇刑ヲ採テ居リマス、同ジ罪ニ對シテモ、或ハ懲役ニ處シ、或ハ禁錮ニ處シ、若クハ罰金ニ處スルコト云フコトニ付キマシテ、主ナルトコロノ一ヲ選シテ以テ、是ニ刑ヲ科スレバ宜イト云フ主義ヲ採テ居リマス、故ニ若シ或者ガ或ル體刑ヲ言渡サル、場合ニ方リマシテ、即チ二十五條ノ要求スルコトコロノ條件ヲ充タシテ、

是ニ據ッテ執行猶豫ノ特典ヲ得ラレマセウケレドモ、ソレヨリ輕イトコロノ裁判官ガ憫ミヲ下シテ、之ニ罰金ノ刑ヲ言渡シマシタルトキニ於テ、其者ガ却テ執行猶豫ノ恩典ヲ受ケナイト云フノハ、甚ダ矛盾シテ居ルト思フデアル、加之此刑法ノ全般ヲ見マスルト云フト、或種ノ犯罪對シマシテハ併科罪ガアル、懲役トサウシテ罰金ト云フモノヲ併セテ科スル罪ガアル、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、若シ體刑ノミ執行猶豫ヲ與ヘテ、金刑ニ是ガ及バヌコトナリマスルト、即チ贓物ニ關スル罪ヲ犯シタル場合ノ如キニ方リマシテハ、體刑ニ付イテハ執行猶豫ノ恩典ヲ受ケ、サウシテ金刑ニ付イテハ、執行猶豫ノ恩典ヲ受ケヌト云フ結果ヲ來スノミナラズ、其結果延イテ猶豫期間中別ニ過失ナク、刑ノ言渡ノ效力ヲ消滅セシムルコトニ方リマシテ、著シキ不權衡ガ起ルデアリマス、即チ懲役罰金ヲ併科サレマシタル場合ニ於キマシテ、サウシテ或ル期間中罪ヲ犯スコトナクシテ、改心ノ狀ヲ示シ、而モ社會ニ對シテ惡事ヲ爲サナカッタモノハ、國家ガ之ニ與ヘタル體刑ノ效力ヲ消滅セシメ、罪ヲ消滅セシムルニ拘ラズ、一面ニ於テハ罰金ヲ科シタ部分ハ、依然トシテ存スルコト云フハ不條理矛盾モ甚ダ至ッテ極マレリト思フ、即チ一ノ犯罪ニ對シテ半分ハ免罪セラレ、半分ハ免罪セラレヌ、即チ首カラ上ノ方ハ罪ヲ許スガ、胴カラ下ハ罪人デアルト云フヤウナ處置ハアルマイト思フ、斯ウ云フ矛盾シタル法文其モノガ存在シテ居ル以上ハ、此點カラ見マシテモ、ヤハリ刑法ノ完璧ヲ期ス上ニ於テ、サウシテ罰金ニ付イテハ恩典ヲ得セシムルト云フコトガ當然デアラウト思フ、斯ノ如クニシテ私ハ執行猶豫ノ方針ニモ大ニ適ヒマスルシ、執行猶豫制度本來ノ趣旨ニモ適合シテ、サウシテ現行法ニアラザル罰金ノ執行猶豫ノ條項ニ於テ、格別ノ不都合ヲ見ナイ結果ヲ得マシタラバ、望外ノ幸デアラウト思フ、或ハ斯ウ云フ議論ガアルカモ知レマセヌ、罰金ニ付イテ執行猶豫ヲ與ルナラバ、科料ニ付イテハ如何ト云フ御問ガアルカモ知レナイ、汝ノ說又暫ク聞クベシ、併ナガラ科料ニ及バナイノ矛盾デアルト仰セラレルカモ知レマセヌケレドモ、私モ此點ニ付イテ考ヘ及バヌデアリマセヌ、考ヘテハ居リマス、科料ト云フモノハ、罰金ヨリモ刑ノ上ニ於テ餘程違ッテ居ル、而シテ政府案ノ羣ニ倣ッテ體刑ニ執行猶豫ヲ與ヘルト云ヘバ、禁錮以下ニアルトコロノ勾留ニモ及バネナラヌデアル、政府案ノ禁錮ニ限ッテ勾留ニ及バヌ以上ハ、私ハ罰金位デ遠慮シテ科料ニ及バヌノハ、當然デアラウト考ヘル、此點ハ餘リ政府ノ案ニ手ヲ付ケテ、御叱リヲ蒙ルトイケマセヌカラ、此邊ニ遠慮致シマス、先刻來花井君ノ申サレタ如ク、此問題ハ餘リ大キナ問題デハゴザイマセヌ、小サナ問題デ、殊ニ私ハ平素遠慮勝ナル性質ヨリシテ、茲ニ科料ト云フ點ヲ引去ッテ皆様ノ御迎ヘ下サルヤウ、御譲リ申シテ修正致ス積リデゴザイマス、何卒御贊成アラントコトヲ希望致シマス

○花井卓藏君 贊成

○望月長夫君 我ハ加瀬君ノ動議ニ反對デアル、短期ナ自由刑ニ執行猶豫ヲ與ヘヤウトシマシタ此刑法ノ主義ト、罰金ニ執行猶豫ヲ與ヘルト云フノハ相副ハナイト思フ、即チ趣旨ガ違フト思フ、ソレ故ニ遺憾ナガラ此動議ニ反對致シマス

（討論終結ト呼フ者アリ）

○議長（杉田定一君） 採決致シマス、加瀬君ノ修正、二十五條ノ「左ニ記載シタルモノ」ノ下ニ「罰金又ハ」ヲ加ヘルト云フ修正デアルデアリマス、加瀬君ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數アリマス、否決ニナリマシタ、原案ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○磯部四郎君 第五章ヨリ以下四十條マデ一括シテ議題ニサレンコトヲ……大
概議論ノアル箇條ハ四五箇條アリマスカラ、私ハ一括シテ議題トスルコトヲ希望致シ
マス

○議長(杉田定一君) 修正ノアル箇條ハ、其箇條々々デアルガ宜シカラウト思ヒマ
ス——二十一條ヨリ二十四條マデ一括シテ議題ト致シマス——是ハ別段修正ガア
リマセヌ、原案ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、第七章、第三十五條ヲ議題ト致シ
マス——花井君
○花井卓藏君 定規ノ賛成ヲ得テ修正説ガ出シテアリマスガ、餘リ大キナ問題デモゴザ
イマセヌ、有テモ無クテモ害ハゴザイマセヌガ、法典ノ不體裁デアリマスケレドモ、暫ク忍
ビテ修正説ヲ撤回シマス

○議長(杉田定一君) 修正説ハ撤回ニナリマシタ、原案ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——第三十六條ヨリ四十二條マデ一
一括シテ議題ト致シマス——原案ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——第八章、四十三條ヲ議題ト致シ
マス
○花井卓藏君 「犯罪ノ實行ニ著手シテ之ヲ遂ケサルモノハ其ノ刑ヲ輕減スルコトヲ得」
トアルヲ「ルコトヲ得」ヲ文字ヲ削ルト云フ修正ヲ出シマス、貴族院ノ修正反對ノ案デゴ
ザイマス、理由ハ述ベマセヌ、ソレカラ但書ノ中「減刑又ハ」四字ヲ削ル修正説ヲ出
シテ置キマシタガ、是ハ即チ中止犯ノ減刑規定ヲ全然免除シタイト云フデアリマスガ、
是モ暫ク譲リマシテ、サウシテ貴族院ノ通りデハナイ、政府案ノ通りニシテ、專ラ「ルコトヲ
得」ヲ爭ヒタイ積リデアリマス

○議長(杉田定一君) 花井君ノ「減刑又ハ」ヲ修正ハ撤回ニナリマスカ
○花井卓藏君 暫ク撤回シマス
○議長(杉田定一君) 採決シマス、貴族院ノ修正「輕減スルコトヲ得」トアル「ルコト
ヲ得」ヲ削除スルデアリマス、此削除ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——是ハ原案ノ通り無論御異議ナイト
認メマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——四十四條ヨリ五十七條マデ一括シテ議題ト致シマス——
原案ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス、五十八條ハ委員會ニ於テ修正ガゴザ
イマスガ、委員長報告通り御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——五十九條ヨリ七十六條マデ一括
シテ議題ト致シマス——御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——五十九條ヨリ七十六條マデ一括
シテ議題ト致シマス——御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——第二章ノ七十七條ヲ議題ト致シ
マス——委員長報告通り御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔政府委員倉富勇三郎君登壇〕
○政府委員(倉富勇三郎君) 刑法改正案ノ特別委員會ニ於キマシテ、改正案ノ第
七十七條、即チ内亂ニ關スル罪ニ付イテ死刑ヲ削ルト云フ修正ノ御意見ガ出マシタ、
ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ、委員會ニ於テ兩度マデ反對ノ意見ヲ表明致シテ置キマシ
タ、併ナガラ委員會ニ於キマシテハ、遂ニ先刻委員長ヨリ御報告ニナリマシタ通、此七
十七條ノ死刑ヲ削ルト云フコトニ決定セラレタノデゴザイマス、然ルニ此七十七條ノ犯
罪、此中ニハ種々ノ事實ヲ包含致シテ居リマス、其中ニハ幾分犯狀ノ輕イノモゴザイマ
スケレドモ、又極メテ重大ナル犯狀デ、少シモ恕スルコトノ出來ナイ事實モ含シテ居ルノデ
ザイマスカラシテ、該條カラ死刑ヲ削ルト云フコトニ付キマシテハ、ドウ致シテモ御同意ヲ表
スルコトガ出來ナイデアリマス、茲ニ重ネテ死刑ヲ削ルトニ付イテ反對ノ意見ヲ表シテ
置キマス

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス、委員長報告通り決シマシタ、七十八
條ヨリ九十五條マデ一括シテ議題ト致シマス——原案ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——九十六條、是ハ委員會ニ於テ削
除ニナッテ居リマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス、委員長報告通り決シマシタ、九十六條
ノ削除ノ結果、箇條ニ異動ヲ生ジマシタ、是ハ自然ノ結果デアリマスルデ、一々決ヲ採ラ
ヌデモ宜カラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 九十七條ヨリ百七條マデ一括シテ議題ニ供シマス——原
案ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——百八條ヲ議題ト致シマス——委
員長報告通り御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——百九條ヲ議題ト致シマス、原案ノ
百九條デス、小川君
〔小川平吉君登壇〕

○小川平吉君 今度前ヨリモ簡單デス(「簡單贊成」ト呼フ者アリ)議案ニモ贊成シテ貰ヒタイ、此百八條ノ汽車、電車トアル下ニ、斯様ナ言葉ヲ入レヤウト云フ修正案デス「其他一定ノ動力ヲ用テ多數ノ貨客運搬ノ用ニ供スルモノ」此二十一字ヲ挿入シヤウト云フ修正案デアル、是ハ委員會ニ於テ政府委員ノ意見ヲモ問フテ見ミシタガ、此汽車、電車ニ限ッタコトニ付イテハ別段ノ理由ハナイノデアル、或ハ自働車ノコトデアルトカ、其他ノ交通機關ノコトニ付イテモ問題ガ起ッタノデアルケレドモ、適當ナル法律ノ規定ヲ設ケルコトガ出來ナカッタノデアルト云フヤウナ答デゴザイマシタ、併ナガラ汽車、電車ト限リテアリマスト云フト、現ニ今日最早ヤ行ハレテ居ル將來益々行ハレテ往クベキトコロノ自働車ノ如キモノニ對シテハ、之ヲ破壞スルコトカ、若クハ轉覆スルコトノ害ト云フモノハ、決シテ電車ニ限ラス、否ナ、電車ヨリ大ナル場合ガアルノデゴザイマス、然ルニ此改正案ノ如クニシテ置キマスレバ、汽車、電車ト列記シテアルカラ、汽車、電車以外ノモノニ適用スルコトガ出來ナナリマス、若クハ茲ニ石油「エンジン」ヲ以テ運轉スル車ガ出來タトシテモ、是モ汽車、電車ニアザルガ故ニ、之ヲ轉覆燒燬シタルモノニ對シテ、刑ヲ適用スルコトハ出來ヌト云フ結果ニナルノデゴザイマス、又今日ノ編歩ノ勢デゴザイマスカラ、或ハ明日ニモ壓搾空氣ヲ以テ動力トシテ車ヲ運轉スルモノガ出來テ來ルカモ知レナイ、是ニ對シテヤハリ此刑法ヲ適用スルコトガ出來ナイコトニナリマス、斯業ナ不都合ナコトガアリマシテ、苟モ其危害ノ程度ハ同一デアリ、若クハ電車ヲ轉覆スルヨリモ以上ノモノデアルト云フナラバ、今日法律ヲ作ルトキニ於テ是等ノ場合ハ成ルベク網羅シテ刑罰ヲ適用スルコトガ、出來ルヤウニ法律ヲ作テ置カケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、現ニ此現行ノ刑法ニ於テ船舶、汽車ト書イテアリマスカラシテ、時勢ノ進歩スル今日電車ガ出來テ見ルト、電車ニ對シテ此刑法ヲ適用スルコトガ出來ヌト云フ不都合ナル結果ヲ見テ居ルノデアリマス、是ハ何故不都合ナルコトヲ見ルニ來ッタカト云フト、物ヲ列記シテ居ルカラデアル、或ハ汽車ト稱シ、或ハ船舶ト稱シテ列記シテ居ルカラ、時勢ノ進歩ニ對シテ刑法ヲ適用スルコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ斯様ナモノヲ列記スルコトヲセズ、概括的ニ私ノ修正スルガ如クニシテ置キマスレバ、時勢ノ進歩ニ依ツテ、如何様ナル交通機關ガ出來テ來テモ、此交通機關ヲ破壞スルコトカ、若クハ轉覆スルコト云フモノニ向シテ、此刑法ヲ十分ニ適用シテ往キマスコトガ出來マス、諸君モ御承知ノ通り法律ト云フモノハ、斯ノ如ク一體制定スベキモノヲ舉ゲテ、是トアレト云フコトヲ記スルノハ、立法トシテハ極メテ拙劣ナル遣方デアル、下手デアル、巧ナル立法者ハ斯ノ如キモノハ作ラヌト思ヒマス、成ルベク多數ノ場合ヲ網羅シテ法律ヲ作ルノハ、賢明ナル諸君ノ立法ノ方法ト私ハ信ジテ居リマス、斯ノ如ク單ニ一種カニ種ノモノヲ舉ゲテ、目前ニ現ハレテ居ル交通機關ヲ破壞シ、若クハ轉覆スルモノニ向シテモ、適用スルコトガ出來ヌヤウナ、狹イ拙劣ナル立法ヲスルコトハ、吾々ノ耻デアルト考ヘテ居リマス、是ハドウカ政友會ノ諸君ニ於テモ其黨議ヲ翻シテ貰ヒタイ、斯様ナ下手ナ法律ヲ作ル必要ハゴザイマセヌカラ、現ニ將來日進月歩ノ世ニ適用スルコトノ出來ルヤウナ、私ノ修正案ヲドウモ是ダケハ黨議ヲ翻サレテ滿場一致ノ御贊成ヲ願ヒマス、尙續イテ申上ゲマスガ此條文ハ澤山出アトニ關係ノ條文ガアリマスカラ、萬々——左様ナコトハナカラウトハ思ヒマスガ、若シ萬一私ノ修正ガ成立タヌ場合ニハ、已ムラ得マセヌカラ、アトノ分ハ取消シマス——撤回スル積リデアリマス

○磯部四郎君 私ハ反對デス、極ク簡單デアリマスカラ、此處カラ述ベマス、唯今小川君ノ言ハレマスニハ總テ刑法ハ概括的ニシテ、イロ／＼ナ種類ノモノガ出テモ、ソレニ當稱

ルヤウニシテ置ク方が宜イト云フ御議論デゴザイマシタガ、或ル場合ニ於テハサウデアラウケレドモ、今日交通機關ノ如キモノハ後ニドウ云フモノガ出來マスカ、刑法ノ範圍ヲサウ廣クシテ置キマスト云フト、新規ニ出來タモノニ對シテ、之ヲ適用スルコトガ出來ルカ出來ヌカト云フ問題ガ起リマス、殊ニ刑法ハ一旦定マリマシタカラト云ツテ、一條一句改正スルコトガ出來ヌモノデゴザイマセヌラ、物ガ増シ、將來ニ於テ此適用デマダ缺ケテ居ルコトガアルコトガ出來マシタナラバ、何時デモ一條一句ヲ足スノハ容易イコトデアリマスカラシテ、却テ概括的ニシテ刑法ヲ適用ノ精神ヲ誤ルトイケマセヌカラ、唯今ノトコロハ此儘十分ト考ヘマスカラ、原案ニ御贊成アラント望ミマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、否決トナリマシタ、原案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシモト認メマス、原案ニ可決致シマシタ、百十九條マデヲ一括シテ議題ニ致シマス、原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、原案ニ可決致シマシタ、百二十條ヲ議題ニ致シマス——委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシモト認メマス、委員長報告通り決シマシタ、百二十一條ヲ議題ニ致シマス

〔濱田國松君登壇〕

○濱田國松君 私ハ此百二十一條ノ委員會ノ修正說ニ反對ヲ致シマシテ、原案ノ復活ヲ圖リタイノデアリマス、此百二十一條ニ對シマシテ、委員會ニ於キマシテ修正セラレマシタノハ「溢水セシメテ前條ニ記載シタル以外ノ物ヲ浸害シ因テ公共ノ危險ヲ生セシタル者」ハ「云フコトニ修正セラレタノデアリマス、是ハ委員會デ此修正ヲ致シマシタ趣意ハ、此溢水ハ稍類似ノ犯罪ニ屬シマス」トコロノ放火犯ノ方デアリマス、放火犯ノ百十一條ノ規定ニ「前二條ニ記載シタル物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシタル者」ハ「云々」トアルカラ、放火ト溢水ノ犯罪ノ權衡ヲ得セシムルタメニ、溢水ノ方ニ「因テ公共ノ危險ヲ生セシタル者」ハ「云々」ト云フ法律ニ修正シタガ宜カラウト云フ趣意カラ修正セラレタモノデゴザイマス、併シハ大イナル誤解デアラウト思ヒマス、私共ハ此委員會ノ修正說ヨリモ政府案ガ頗ル完全デアラウト思フ、ナゼカトナラバ委員會ガ此修正ヲシタル當時ニ於キマシテハ、放火ト溢水ハ共ニ天然力ヲ利用シテ結果ノ慘憺タル狀態ヲ呈スル犯罪デアルカラ、規定モ權衡ヲ維持セシメタガ宜カラウト云フ概念カラ修正ヲ施シタモノト思ヒマス、是ハ内容ガ頗ル違フテ居ル、ナゼ違フテ居ルカト申シマス、放火ノ方ハ新舊刑法ヲ對照致シマス云フト、舊刑法デモ三ツニ別テ居ル、第一ハ人ノ住居シタル建造物、第二ハ住居セザル建造物、第三ハ其他ノ物ト舊刑法ニ分テ居ル、放火溢水共ニ——然ルニ新刑法ニ於キマシテモ、ヤハリ三ツニ分テ居ル、住居スベキ建造物、住居シナイ建造物、其他ノ手輕キ物ト三ツニ分テ、第三ノ手輕キ物ハ時ニ放火ヲ致シマシテ公共ノ危險、ヲ生シナイ場合ガ現存致シマスカラ、斯ル場合ハ強テ法律ヲ制裁ヲ加

ヘル必要ハナイカラ、政府案デハ特ニ公共ノ危險ヲ生シタルト云フコトヲ附加セラレヌト思ヒマス、然ルニ一方ノ溢水ノ方ヲ對照シマス、ヤハリ舊刑名ニ於テハ三ツニ分ツテ居ル、新刑法ハ概括シテ二ツニ分ツタ、單ニ其標準ヲ人ノ住居スル建造物ト云フコトニ取リ、第二ノ標準ヲ其他ノ物ト云フコトニ致シマシテ、其他ノ物ト云フ中ニハ現ニ人ノ住居シナイ家屋ナドモ含シテ居リマシテ、犯罪ノ目的物カラ論ジマスレバ、溢水ノ方ハ頗ル重大ノ性質ノモノヲ含シテ居ル、此目的物ノ性質カラ論ジマスレバ、溢水ノ犯罪ヲヤツタ者ハ明カニ公共ノ危險ヲ生シテ居ル、法律ノ明文ヲ事々シク引用致サナイデモ分ツテ居リマス通り現ニ三十一條ニ「溢水セシメテ前條ニ記載シタル以外ノ物ヲ浸害シタル者ハ」トアル、此浸害ト云フコトハ申サマデモナク明カニ公共ノ危險ヲ生ゼシムル場合デゴザイマスカラ、斯ル場合ニ公共ノ危險ヲ生ゼシムルト云フコトヲ入レル必要ガゴザイマスレバ、他ノ法條ニモ悉クソレヲ加ヘナケレバナラス、人ヲ毆打シテ公共ノ危險ヲ生ゼシメタル者、規則ニ違反シテ火藥ヲ運搬シ公共ノ危險ヲ生ゼシメタル者ト云フコトヲ一々追加シナケレバナラス、私共ハ百二十一條ニ「浸害ト云フコトガ、明記セラレタ以上ハ、明カニ公共ノ危險ヲ生シテ居ル事柄デアラウト思フ、斯ノ如キ場合ニ於テ蛇足ノ文字ヲ添ヘマスト云フコトハ、後日法律ノ適用上誤謬ト弊害ヲ生シヤウト思ヒマスカラ、是ハ政府案ガ確カニ宜イ、現ニ委員會ニ於テ此修正ニ對シテ政府委員ハ苦笑ヲ漏ラシテ居タ、政府委員ノ苦笑ニハ種々ノ性質ガアリマスガ、是ハ價ノアル苦笑ト思ヒマス、是非原案ノ復活ヲ希望致シマス」

○小河源一君 私ハ唯今ノ修正說ニ反對ヲ致ス者デゴザイマス、簡單デスカラ是ヲ陳述致シマス、此案ハ委員會ニ於テ私ヨリ修正說ヲ出シタデアリマスカラ、一言辯明スル義務ガアルト思ヒマス抑放火罪ノ所ニ於テ「其他ノ物ヲ燒燬シテ公共ノ危險ヲ生ゼシメタル」ト云フコトガアル以上ハ、溢水ノ場合ニ於キマシテモ是ト同一ノ文例ニ倣ヒマシテ、ヤハリ公共ノ危險ヲ生ゼシメタルト云フコトガ必要アル、唯今ノ濱田君ノヤウナ解釋ヲ致ス人ガ有リマスガ故ニ、益此文字ヲ加ヘル必要アル、濱田君ノ述べルトコロニ依テ見マスルト云フト、浸害ト云フ文字ガアルカラシテ、既ニ浸害ト云フコトガアレバ、公共ノ危險ト云フヤウナコトハ無用ノ文字デアル、浸害其物デ足りテ居ルト云フ議論アル、サウスルト濱田君ノ解釋ハ溢水セシメテ塵紙一枚ノ浸害ヲ致シテモ切レ草履一足ヲ浸害シテモ此犯罪ヲ組織スルト云フ解釋ヲシテ居ル、斯様ナ解釋ヲシテ罰セラレテハナラヌカラ、此誤解ヲ避ケマスルガためニ「公共ノ危險ヲ生ゼシメタル」ト云フ文字ヲ加ヘナケレバナラス、火ノ方ニ於キマシテモ誰人モ自分ノ材木ノ殘リヤ草ナドニ火ヲ放チテ燒イタカラト云ウテ之ヲ罰スルト云フヤウナ、誤解ヲ來セモノハナイデアリマス、ソレデアルケレドモ尙之ニ向テ若シ誤解ヲ來シテハナラヌト云フ考ヲ以テ「公共ノ危險ヲ生ゼシメタル者」ト云フ文字ヲ加ヘテ誤解ヲ來サナイヤウニシテ居ル、シテ見マスルト是ト同様ニ溢水ノ場合ニ於テ殊更ニ之ヲ取除イタラバ、火ノ方ハ濱田君ノ云フガ如クニ上ノ方ガ廣クナテ居ル、又人ノ住居シナイ家屋ニ溢水シテ浸害シタル場合ヲ罰スルト、上ニ於テモ廣クナテ居ルガ、下ニ於テモ廣クナテ居ルト云フ誤解ヲ生ズル故ニ、放火ノ方ニ於テ「公共ノ危險ヲ生ゼシメタル者」ト云フ文字ガアル以上ハ、溢水ノ方ニモ之ヲ加ヘナイト、下ガ廣クナテ同一ノ解釋ニ出ナイカラ、是ハ必要デアリマスカラ、委員長報告通り決セラレンコトヲ望ミマス

○磯部四郎君 唯今小河君ヨリ「因テ公共ノ危險ヲ生ゼシメタル者」云々ノ御説明ガゴザイマシテ、説ハ是デ明カニナリマシタカラ、唯私ハ此第百二十一條ノ「一年以上」ト

云フコトハ委員會デ削除ニナリマシタガ一年以上ト云フコトヲ復活セラレンコトノ議ヲ提出致シマス、是ハ百十一條ト權衡ヲ合セルタデアリマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○望月長夫君 私ハ磯部君ノ意見ニ同意致シマス

○花井卓藏君 私モ磯部君ノ勸議ニ同意ヲ致シマス

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、其順序ヲ御話申シマスルガ、先第一ニ「因テ公共ノ危險ヲ生ゼシメ」ト云フ委員長ノ報告ヲ採決致シマス、ソレガ決シタコロデ「一年以上」ト云フノ委員長ノ報告ヲ削除シテ居ルガ、併ナガラ議員トシテ之ヲ復活スルト云フ修正ガ出テ居リマス、ソレデアハリ委員長ノ報告ノ「一年以上」ヲ削除スルト云フコトノ決ヲ採リマス、ソレガ倒レ、ハ原案ニ復活ナルデアリマス——「因テ公共ノ危險ヲ生ゼシメ」ト云フ委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 異議ガアリマス——「因テ公共ノ危險ヲ生ゼシメ」ト云フ委員長ノ報告ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デゴザイマス、委員長報告通り決シマシタ——「一年以上」ト云フヲ削除スルト云フ委員長ノ報告ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數ト認メマス、其他原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、百二十二條ハ何等ノ修正モゴザイマセヌ、原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、百二十三條ヲ議題ニ供シマス、委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、百二十四條、百二十五條、百二十六條、原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、百二十七條ヨリ百三十條マデニ小川君ヨリ修正ガ出テ居リマシタガ、御撤回ニナッタト存ジテ居リマスガ……

○小川平吉君 撤回致シマシタ

○議長(杉田定一君) 然レバ此百二十七條ヨリ百三十條マデハ原案通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、百二十七條ヨリ百三十條マデニ小川君ヨリ修正ガ出テ居リマシタガ、御撤回ニナッタト存ジテ居リマスガ……

○小川平吉君 撤回致シマシタ

○議長(杉田定一君) 然レバ此百二十七條ヨリ百三十條マデハ原案通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、百二十七條ヨリ百三十條マデニ小川君ヨリ修正ガ出テ居リマシタガ、御撤回ニナッタト存ジテ居リマスガ……

○小川平吉君 撤回致シマシタ

○議長(杉田定一君) 然レバ此百二十七條ヨリ百三十條マデハ原案通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、百二十七條ヨリ百三十條マデニ小川君ヨリ修正ガ出テ居リマシタガ、御撤回ニナッタト存ジテ居リマスガ……

○小川平吉君 撤回致シマシタ

○議長(杉田定一君) 然レバ此百二十七條ヨリ百三十條マデハ原案通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナイモノト認メマス、百二十七條ヨリ百三十條マデニ小川君ヨリ修正ガ出テ居リマシタガ、御撤回ニナッタト存ジテ居リマスガ……

○小川平吉君 撤回致シマシタ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
定ム云々、ツレカラ刑法ノ第一編總則ト云フ目錄全部アリマス、是ハ原案通り御異議アリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
御異議ナシト認メマス、是ニテ一讀會ハ終了致シマシタ

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 直チニ第三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議ノ通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

刑法改正案

第三讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ

〔拍手起ル〕

○恆松隆慶君 頗ル重大問題ノ刑法が議決ニナリマシテ、今日ハ是ヲ散會セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 恆松君勸議ノ通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

提出者 松浦 五兵衛君

一委員ヲ指名スル左ノ如シ

樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

提出者 青地 雄太郎君

高梨 哲四郎君

阿部 徳三郎君

大戸 復三郎君

森 秀次君

海港檢疫法中改正法律案

大井 卜新君

横山 寅一郎君

山根 正次君

富島 暢夫君

宮本 嘉樂君

井上 要君

初木 卿太郎君

梅野 初實君

濱口 增君

○議長(杉田定一君) 次回ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時五十五分散會

衆議院議事速記録第十四號正誤